

資料

令和5年度 沖縄県産業廃棄物実態調査 フォローアップ業務報告書

目次

資料1. 多量排出事業者による産業廃棄物処理計画実施状況報告の集計結果	資-1
資料2. 農業系廃棄物の集計結果	資-3
資料3. 発生及び処理・処分状況に関する統計表（動物のふん尿除く）	資-4
資料4. 産業廃棄物に関する排出事業者及び処理業者への調査	資-11
1. 排出事業者	資-11
2. 処理業者	資-25
3. 排出事業者及び処理業者へのアンケート調査の回答方法について	資-38

資料 1. 多量排出事業者による産業廃棄物処理計画

実施状況報告の集計結果

令和 5 年度（2023 年度）に提出された令和 4 年度（2022 年度）分の多量排出事業者の産業廃棄物処理計画実施状況報告書は 96 件（産業廃棄物：81 件、特別管理産業廃棄物：18 件[うち産業廃棄物との重複 3 件]）で、報告された廃棄物の種類毎に排出量及び処理量を集計した。

1. 産業廃棄物処理計画実施状況報告（令和 4 年度実績）の集計結果

(単位:トン)

区 分 種 類	排出量	自ら直接 再生利用 した量	自ら直接 埋立処分 又は 海洋投入 処分した量	自ら 中間処理 した量	④のうち 熱回収を 行った量	自ら 中間処理 した後の 残さ量	自ら 中間処理 により 減量した量	自ら 中間処理 した後 再生利用 した量	自ら中間 処理した 後 自ら埋立 処分又は 海洋投入 処分した量	直接及び 自ら中間 処理した 後の処理 委託量	⑩のうち 優良認定 処理業者 への 処理委託量	⑩のうち 再生利用 業者への 処理委託量	⑩のうち 熱回収認定 業者への 処理委託量	⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
燃え殻	10,819		3,816	13		1	13			6,990		6,976		
汚泥	172,931	11,727	3,917	96,477			6,744		1,030	67,258	20	62,613		6
廃油	226									226	23	149		21
廃酸														
廃アルカリ														
廃プラスチック類	3,526									3,526	568	1,323		51
紙くず	519			3		1	2			517	91	355	1	12
木くず	13,560									13,560	359	9,785		29
繊維くず	30									30	5	20		
動植物性残さ	37,427	33,486		2,500	1,504	162	834	6,210		162	57	105		
動物系固形不棄物														
ゴムくず	4									4				
金属くず	2,364									2,364	814	1,524		20
ガラス・コンクリート・陶磁器くず	63,488	7,136		8,479		3,220		2,270		54,068	1,455	34,970		1
鋸さい	19,621			19,615		16,518		16,518		6				
がれき類	133,438	8,207		521		303		521		121,159	4,198	114,383		
ばいじん	160,028		15,519							144,509		134,948		
動物のふん尿														
動物の死体														
その他廃棄物	5,746			24						5,733	1,262	845		
合 計	623,726	60,556	23,252	127,633	1,504	26,949	86,982	28,389	1,030	420,112	8,852	367,997	1	141

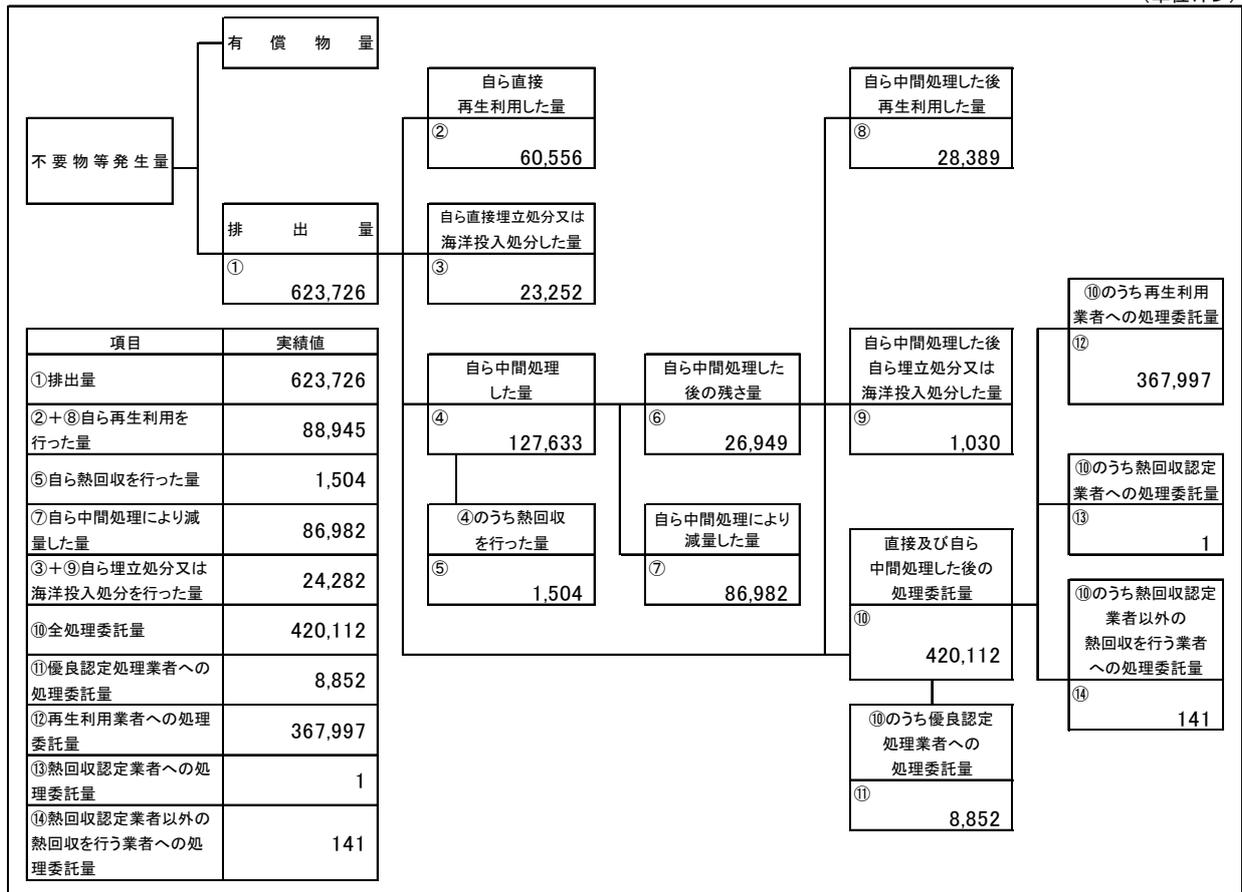
2. 特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告（令和 4 年度実績）の集計結果

(単位:トン)

区 分 種 類	排出量	自ら直接 再生利用 した量	自ら直接 埋立処分 又は 海洋投入 処分した量	自ら 中間処理 した量	④のうち 熱回収を 行った量	自ら 中間処理 した後の 残さ量	自ら 中間処理 により 減量した量	自ら 中間処理 した後 再生利用 した量	自ら中間 処理した 後 自ら埋立 処分又は 海洋投入 処分した量	直接及び 自ら中間 処理した 後の処理 委託量	⑩のうち 優良認定 処理業者 への 処理委託量	⑩のうち 再生利用 業者への 処理委託量	⑩のうち 熱回収認定 業者への 処理委託量	⑩のうち 熱回収認定 業者以外の 熱回収を行 う業者への 処理委託量
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭
廃石綿等														
引火性廃油	5									5	2			1
特管ばいじん	7,551									7,551	7,551	7,551		
感染性廃棄物	1,645			87		87				1,645	294	78		384
廃酸・廃アルカリ	266									266	266			
特管廃油	3									3	1			
特管燃え殻														
特管汚泥	1,808			1,806		508	1,298			510	2	508		
特管鋸さい														
廃PCBなど	1									1	1			
合 計	11,280			1,893		595	1,298			9,982	8,118	8,138		385

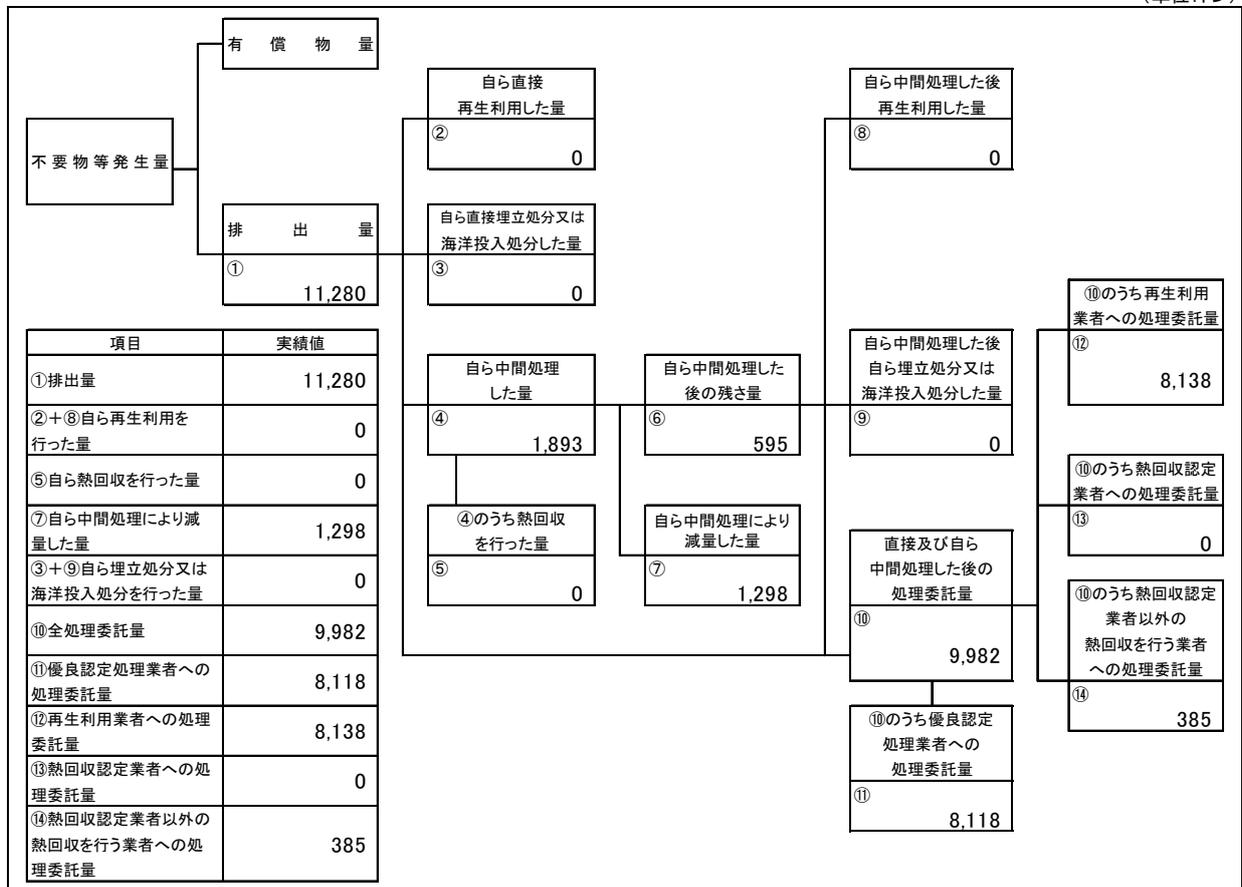
注) 表中の数値は四捨五入の関係で合計と個々の計が一致しない場合がある。

(単位:トン)



産業廃棄物の処理フロー(令和4年度(2022年度)実績)

(単位:トン)



特別管理産業廃棄物の処理フロー(令和4年度(2022年度)実績)

資料2. 農業系廃棄物の集計結果

1. 動物のふん尿（令和4年度（2022年度））

項目	区分	家畜飼養頭羽数 (頭、羽)	ふん尿量 (トン/年)
肉	用牛	73,298	685,407
乳	用牛	3,773	60,031
	豚	193,433	449,161
採卵	鶏	1,257,615	55,855
ブ	ロイラ	649,534	30,820
合	計	2,177,653	1,281,274

出典：「家畜・家きん等の飼養状況調査結果」（令和4年12月、沖縄県農林水産部畜産課）

2. 動物の死体（令和4年度（2022年度））

項目	区分	家畜飼養頭数 (頭)	死体重量 (トン/年)
肉	用牛	73,298	953
乳	用牛	3,773	200
	豚	193,433	787
合	計	270,504	1,940

出典：「家畜・家きん等の飼養状況調査結果」（令和4年12月、沖縄県農林水産部畜産課）

出典：「NOSAI 沖縄 沖縄県農業共済組合ホームページ/事業報告書 令和4年度」（NOSAI 沖縄 沖縄県農業共済組合、令和5年4月18日アクセス）

3. 農業系廃プラスチック類（令和4年度（2022年度）） （単位：トン/年）

区分	埋立	焼却	再生	その他	合計
合	434.7	141.6	428.5	29.5	1,034.4

出典：「農業用廃プラスチックに関する調査」（沖縄県農業用廃プラスチック協議会）

資料3. 発生及び処理・処分状況に関する統計表（動物のふん尿除く）

1. 種類別の発生及び処理・処分状況（令和4年度（2022年度）：種類別変換）

（単位：トン/年）

種類	区分	発生量	有償物量	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	その他量 (保管量)	資源化量
合計		1,999,521	141,902	1,857,618	895,008	883,157	78,992	462	1,036,910
燃え殻		10,824		10,824	9,235	▲ 4,175	5,764		9,235
汚泥		923,255	2,356	920,900	104,314	808,223	8,354	9	106,670
廃プラスチック類		25,760	396	25,364	10,649	2,035	12,640	41	11,045
木くず		32,869	167	32,703	23,991	7,710	1,001	1	24,158
動植物性残さ		298,792	118,691	180,101	137,323	42,462	316		256,014
金属くず		12,716	3,576	9,140	7,574	1	1,564	1	11,150
ガラス・コンクリート・陶磁器くず		76,222	3,269	72,953	68,134	1,304	3,115	401	71,403
鉱さい		24,020	95	23,925	23,917		8		24,012
がれき類		388,134	9,226	378,908	358,930	6,319	13,660		368,156
ばいじん		152,050	24	152,026	126,942		25,084		126,966
上記以外の種類		54,877	4,103	50,775	23,999	19,279	7,488	9	28,102

注)本表は、中間処理によって変化した処理後の種類(種類別変換の例:木くず→焼却→燃え殻)で集計しているため、減量化量のうち増量(マイナス表記)となるものがある。

2. 種類別の発生及び処理・処分状況（令和4年度（2022年度）：種類別無変換）

（単位：トン/年）

種類	区分	発生量	有償物量	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	その他量 (保管量)	資源化量
合計		1,999,521	141,902	1,857,618	895,008	883,157	78,992	462	1,036,910
燃え殻		10,824		10,824	6,983	0	3,841		6,983
汚泥		923,255	2,356	920,900	104,846	807,440	8,605	9	107,201
廃プラスチック類		25,760	396	25,364	10,676	1,698	12,949	41	11,073
木くず		32,869	167	32,703	24,247	7,017	1,437	1	24,414
動植物性残さ		298,792	118,691	180,101	137,323	42,461	316		256,014
金属くず		12,716	3,576	9,140	7,574	1	1,564	1	11,150
ガラス・コンクリート・陶磁器くず		76,222	3,269	72,953	68,134	1,304	3,115	401	71,403
鉱さい		24,020	95	23,925	23,917		8		24,012
がれき類		388,134	9,226	378,908	358,930	6,319	13,660		368,156
ばいじん		152,050	24	152,026	126,942		25,084		126,966
上記以外の種類		54,877	4,103	50,775	25,435	16,917	8,413	9	29,538

注)本表は、中間処理を経た場合でも発生時の種類のまま(種類別無変換の例:木くず→焼却→木くず)で集計している。

3. 業種別の発生及び処理・処分状況（令和4年度（2022年度））

（単位：トン/年）

業種	区分	発生量	有償物量	排出量	再生利用量	減量化量	最終処分量	その他量 (保管量)	資源化量
合計		1,999,521	141,902	1,857,618	895,008	883,157	78,992	462	1,036,910
建設業		493,211	8,874	484,337	423,728	29,316	31,293		432,602
製造業		510,608	129,696	380,912	261,684	112,272	6,550	407	391,380
電気・水道業		951,007	1,413	949,594	192,535	723,688	33,371	0	193,948
情報通信		1,314	13	1,301	129	1,076	96		142
卸・小売業		16,172	1,672	14,500	7,634	2,497	4,362	6	9,306
サービス業		3,253	124	3,129	2,411	502	208	8	2,535
その他の業種		23,955	110	23,845	6,886	13,807	3,112	41	6,996

表3-1 種類別一発生及び処理・処分状況（令和4年度（2022年度））

区分 種類	発生量		有償物量	排出量	自己中間処理量				自己未処理量				搬出量				自己最終処分量					
	(A)	(B)			(C)	(D)	自己中間処理後の処理内訳				自己未処理の処理内訳				自己未処理の処理内訳				(I)	(J)		
	(B+C)	(B)	(D+E)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(H+K+J)					
					再生利用量	自己最終処分量	委託中間処理量	委託直接最終処分量	その他	再生利用量	自己最終処分量	委託中間処理量	委託直接最終処分量	その他	再生利用量	自己最終処分量	委託中間処理量	委託直接最終処分量	その他			
合計	1,999,521	141,902	1,857,618	970,617	140,353	58,776	2	81,122	158	294	887,001	124,120	26,899	723,766	12,049	167	844,458	26,901	26,901	26,901	26,901	
燃え殻	10,824		10,824								10,824		3,816	7,008			10,824	3,816	3,816	3,816	3,816	
汚泥	923,255	2,356	920,900	851,780	68,992	5,674	2	63,300	9	7	69,120		7,517	61,224	376	2	132,438	7,519	7,519	7,519	7,519	
有機性汚泥	782,527	26	782,501	771,649	56,355	0	56,344	9	2	10,852				10,778	74		67,208	0	0	0	0	
無機性汚泥	140,728	2,330	138,398	80,131	12,636	5,674	2	6,956	5	5	58,268		7,517	50,446	302	2	65,230	7,519	7,519	7,519	7,519	
廃油	13,989	494	13,495	50	14			4	10		13,444			13,414	22	8	13,458					
一般廃油	13,459	494	12,965	36	1			1			12,929			12,917	5	8	12,930					
廃溶剤	26		26								26			26			26					26
固形油	240		240								240			240			240					240
油でい	158		158	10	10			10			148			130	17		158					158
油付着物類	106		106	5	3			3			101			101			104					104
廃酸	740	46	694								694			692	2		694					694
廃アルカリ	368		368	100	47			47			268			215	54		315					315
廃プラスチック類	25,760	396	25,364	511	502	6		473	18	4	24,853			23,543	1,273	37	25,349					25,349
廃プラスチック	24,217	396	23,821	511	502	6		473	18	4	23,310			22,022	1,257	31	23,806					23,806
廃タイヤ	1,543		1,543								1,543			1,521	16	6	1,543					1,543
紙くず	4,212	3,140	1,072	76	74	9		62	3		996			980	16		1,061					1,061
木くず	32,869	167	32,703	930	913	400		505	7		31,773			31,266	505	1	32,285					32,285
繊維くず	54		54	3	0			0			52			52			52					52
動物性残さ	298,792	118,691	180,101	45,508	3,223	2,053		1,170			134,592	124,120	44	10,335	93		11,642	44				44
動物系固形不要物	1,227		1,227								1,227			1,227			1,227					1,227
ゴムくず	246		246								246			242	4		246					246
金属くず	12,716	3,576	9,140	610	610			610			8,530			8,343	187	1	9,139					9,139
ガラス・セラミックス類	76,222	3,269	72,953	17,662	17,101	14,799		1,914	104	283	55,291			54,511	683	117	57,593					57,593
紙くず	24,020	95	23,925	19,615	19,615	19,615		4,310			4,310			4,310			4,310					4,310
がれき類	388,134	9,226	378,908	31,517	28,322	16,218		12,104			347,391		3	339,764	7,623		359,495	3				359,495
コンクリート片	287,355	1	287,354	17,512	17,512	7,078		10,434			269,842			268,843	999		280,276					280,276
廃アスファルト	80,646	9,226	71,421	12,965	9,791	9,140		650			58,456			58,257	199		59,106					59,106
その他	20,133		20,133	1,040	1,020			1,020			19,093		3	12,864	6,426		20,113	3				20,113
ばいじん	152,050	24	152,026								152,026		4	136,503	4		152,026	4				152,026
動物のふん尿																						
動物の死体	1,945		1,945								1,945			1,945			1,945					1,945
その他産業廃棄物	32,096	423	31,673	2,254	940	1		933	5		29,419			28,190	1,228	1	30,358					30,358
感熱性廃棄物	3,780		3,780	101	88			88			3,679			3,672	7		3,767					3,767
混合物等	28,316	423	27,893	2,153	851	1		845	5		25,741			24,518	1,221	1	26,591					26,591

(その1)

(単位：t/年)

(単位: t/年)

(その2)

区分	委託処理量										委託中間処理量										再生利用量			最終処分量			その他量		資源化量
	委託直接最終処分量					(処理先地域の内訳)					(処理主体の内訳)					(処理先地域の内訳)					(R) (E1+G1+H1)	(O) (I+O+M2)	(01) 事業者	処理主体の内訳		(J) (E5+G5)	(S) (B+R)		
	(K) (O+L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	(委託処理後の処理内訳)		(M1)	(M2) 最終処分量	(02) 自治体	(03) 処理業者												
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		再生利用量	最終処分量																
種別	(K)	(O)	(L)	業者	自治体	県内	県外	(M)	(M1)	(M2)	(R)	(0)	(01)	(02)	(03)	(J)	(S)												
燃え殻	817,095	7,008	804,888	803,426	1,462	773,734	31,154	751,995	712,112	39,884	895,008	78,992	26,901	491	51,600	462	1,036,910												
汚泥	124,910	386	124,524	124,524		123,968	556	99,090	98,640	449	104,314	8,354	7,519		835	9	106,670												
有機性汚泥	67,206	84	67,122	67,122		67,071	51	61,613	61,377	236	61,377	320	0		320	2	61,403												
無機性汚泥	57,704	302	57,402	57,402		56,897	505	37,477	37,264	213	42,938	8,034	7,519		515	7	45,267												
廃油	13,450	32	13,418	13,413	5	13,324	94	3,920	3,869	51	3,869	83			83	8	4,363												
一般廃油	12,922	5	12,918	12,915	3	12,850	68	3,644	3,593	51	3,593	56			56	8	4,087												
廃溶剤	26		26	26		25	1	1	1	0	1	0			0	1													
固形油	240		240	240		240		236	236		236	27			27		236												
油でい	158	27	130	130		127	3	22	22		22	27			27		22												
油付着物類	104		104	101	3	81	23	18	18		18				18		18												
廃酸	694	2	692	692		688	4	655	655	0	655	1			1		701												
廃アルカリ	315	54	262	262		148	114	26	24		2				77		2												
廃プラスチック類	25,308	1,292	24,016	23,939	77	23,379	638	21,990	10,643	11,348	10,649	12,640			424	12,216	41	11,045											
廃プラスチック	23,770	1,275	22,495	22,418	77	21,858	637	20,637	9,359	11,278	9,365	12,553			424	12,129	36	9,761											
廃タイヤ	1,538	16	1,521	1,521		1,521		1,354	1,284	70	1,284	87			87		6	1,284											
紙くず	1,061	19	1,042	1,042		1,040	2	928	868	61	876	80			80		4	4,017											
木くず	32,284	512	31,772	31,662	110	31,772		24,079	23,591	488	23,991	1,001			1,001		1	24,158											
繊維くず	52		52	51	1	52	0	38	27	10	27	10			10		1	27											
動植物性廃さ	11,598	93	11,505	11,502	3	11,505		11,329	11,150	179	137,323	316	44		272			256,014											
動物系脂肪不要物	1,227		1,227	1,227		1,227		1,227	1,227		1,227							1,227											
ゴムくず	246	4	242	237	5	242	1	27	27	0	27	4			4			27											
金属くず	9,139	187	8,952	8,909	43	8,920	32	8,952	7,574	1,378	7,574	1,564			10	1,554	1	11,150											
ガラス・セラミック・陶磁器くず	57,192	767	56,425	56,407	19	46,126	10,299	55,682	53,334	2,348	68,134	3,115			18	3,097	401	71,403											
鉱さい	4,310		4,310	4,310		4,304	6	4,310	4,302	8	23,917	8			8			24,012											
がれき類	359,492	7,623	351,868	351,868		348,269	3,599	348,744	342,712	6,033	358,930	13,660	3		13,656			368,156											
コンクリート片	280,276	999	279,277	279,277		277,015	2,262	277,249	276,593	656	283,671	1,655			1,655			283,672											
廃アスファルト	59,106	199	58,907	58,907		58,596	311	58,839	58,810	29	67,951	227			227			77,176											
その他	20,110	6,426	13,684	13,684		12,658	1,026	12,657	7,308	5,348	7,308	11,777	3		11,774			7,308											
ばいじん	136,507	4	136,503	136,503		136,495	8	136,503	126,942	9,561	126,942	25,084	15,519		9,565			126,966											
動物のふん尿																													
動物の死体	1,945		1,945	746	1,199	1,945		33	12	21	12	21			20	1		12											
その他産業廃棄物	30,357	1,234	29,123	29,122	1	20,303	8,820	23,279	17,302	5,977	17,303	7,210			3	7,208	1	17,726											
感染性廃棄物	3,767	7	3,760	3,760		3,323	436	120	113	7	113	14			14			113											
混合物等	26,590	1,227	25,363	25,362	1	16,979	8,384	23,159	17,189	5,970	17,190	7,197			3	7,194	1	17,613											

(単位: t/年)

(その2)

区分	委託処理量										委託中間処理量										再生利用量			最終処分量			その他量			資源化量
	委託直接最終処分量					(処理主体の内訳)					(処理先地域の内訳)					委託中間処理後量					(R) (E+G+H)	(O) (I+O+M)	処理主体の内訳			(J) (S) (B+R)				
	(K) (Q-L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(L)	(処理主体の内訳)		(処理先地域の内訳)		(M)	再生利用量		最終処分量		(01)	(02)	(03)												
		業者	自治体	県内	県外		業者	自治体	県内	県外		(M1)	(M2)	(0)	(01)				(02)	(03)										
合計	817,095	12,207	11,784	423	11,860	347	804,888	803,426	1,462	773,734	31,154	751,995	712,112	39,884	78,992	26,901	491	51,600	462	1,036,910										
燃え殻	7,008						7,008	7,008		27	6,981	7,008	6,983	25	3,841			25		6,983										
汚泥	124,910	386	386		353	32	124,524	124,524		123,968	556	99,872	99,172	701	8,605	7,519	1,086	9	107,201											
有機性汚泥	67,206	84	84		84		67,122	67,122		67,071	51	61,931	61,529	402	486	0	486	2	61,555											
無機性汚泥	57,704	302	302		270	32	57,402	57,402		56,897	505	37,942	37,643	298	8,119	7,519	600	7	45,647											
廃油	13,450	32	32		14	18	13,418	13,413	5	13,324	94	3,992	3,885	108	140	0	140	8	4,379											
一般廃油	12,922	5	5		4	1	12,918	12,915	3	12,850	68	3,697	3,598	99	104	0	104	8	4,092											
廃溶剤	26						26	26		25	1	2	1	1			1	1	1											
固形油	240						240	240		240		236	236	5	23	33	33	236	236											
油でい	158	27	27		10	17	130	130		127	3	29	23	5	23	33	33	23	23											
油付着物類	104						104	101	3	81	23	29	27	2	27	0	0	2	27											
廃酸	694	2	2		2	0	692	692		688	4	657	655	2	655	3	3	3	701											
廃アルカリ	315	54	54		50	3	262	262		148	114	43	18	25	79		79		18											
廃プラスチック類	25,308	1,292	871	421	1,292		24,016	23,939	77	23,379	638	22,327	10,670	11,657	12,949	428	12,520	41	11,073											
廃プラスチック	23,770	1,275	855	421	1,275		22,495	22,418	77	21,858	637	20,952	9,383	11,568	12,844	428	12,415	36	9,786											
廃タイヤ	1,538	16	16		16		1,521	1,521		1,521	1	1,375	1,287	89	1,287	105	105	6	1,287											
紙くず	1,061	19	19		19		1,042	1,042		1,040	2	936	871	64	880	83	83		4,021											
木くず	32,284	512	512		512		31,772	31,662	110	31,772		24,772	23,846	925	24,247	1,437	1,427	1	24,414											
繊維くず	52						52	51	1	52	0	38	27	11	11	0	11		27											
動植物性残さ	11,598	93	93		93		11,505	11,502	3	11,505		11,330	11,150	179	137,323	316	44	0	272											
動物系固形不要物	1,227						1,227	1,227		1,227		1,227	1,227		1,227				1,227											
ゴムくず	246	4	4		4		242	237	5	242	1	55	30	25	30	29	1	28	30											
金属くず	9,139	187	187		187		8,952	8,909	43	8,920	32	8,952	7,574	1,378	1,564	10	1,554	1	11,150											
ガラス・セラミックス類	57,192	767	767		767	0	56,425	56,407	19	46,126	10,299	55,682	53,334	2,348	68,134	3,115	18	3,097	401											
鉱さい	4,310						4,310	4,310		4,304	6	4,310	4,302	8	23,917	8	8		24,012											
がれき類	359,492	7,623	7,623		7,517	106	351,868	351,868		348,269	3,599	348,744	342,712	6,033	358,930	13,660	3	13,656	368,156											
コンクリート片	280,276	999	999		984	16	279,277	279,277		277,015	2,262	277,249	276,593	656	283,671	1,655	1,655		283,672											
廃プラスチック	59,106	199	199		199		58,907	58,907		58,596	311	58,839	58,810	29	67,951	227	227		77,176											
その他	20,110	6,426	6,426		6,335	90	13,684	13,684		12,658	1,026	12,657	7,308	5,348	11,777	3	11,774		7,308											
ばいじん	136,507	4	4			4	136,503	136,503		136,495	8	136,503	126,942	9,561	126,942	25,084	15,519	9,565	126,966											
動物のふん尿																														
動物の死体	1,945						1,945	746	1,199	1,945		33	12	21	21	20	1	1	12											
その他産業廃棄物	30,357	1,234	1,232	2	1,049	184	29,123	29,122	1	20,303	8,820	25,512	18,699	6,813	18,701	8,047	3	8,044	19,123											
感染性産業廃棄物	3,767	7	7		7	0	3,760	3,760		3,323	436	557	177	380	387	387		387	177											
混合物等	26,590	1,227	1,224	2	1,042	184	25,363	25,362	1	16,979	8,384	24,956	18,523	6,433	18,524	7,660	3	7,657	18,946											

表 3-3 業種別一発生及び処理・処分状況（令和4年度（2022年度））

業種	(その1)										(単位：t/年)									
	発生量		有償物量		排出量		自己中間処理量		自己中間処理後量		自己未処理量		自己未処理の処理内訳		搬出量		自己最終処分量			
	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)	(E1)	(E2)	(E3)	(E4)	(E5)	(G)	(G1)	(G2)	(G3)	(G4)	(G5)	(H)	(I)		
	(A-C)	(D-F)	(G-I)	(J-L)	(M-O)	(P-R)	(S-U)	(V-X)	(Y-Z)	(AA-AC)	(AD-AE)	(AF-AG)	(AH-AJ)	(AK-AL)	(AM-AN)	(AO-AP)	(AQ-AR)	(AS-AT)	(AU-AV)	
合計	1,999,521	141,902	1,857,618	970,617	140,353	58,776	2	81,122	158	294	887,001	124,120	26,899	723,766	12,049	167	844,458	26,901	26,901	
農業・林業	2,977			92	0	0	0	0			2,977			90	421	30	2,977	0	0	
畜産	131		131	125	125	125					6			6			6			
建設業	493,211	8,874	484,337	32,442	29,196	16,517		12,549	129		451,896		3	442,852	9,041		464,574	3	3	
製造業	510,608	129,696	380,912	157,825	53,684	39,312		14,077	8	287	223,087	124,120	3,644	94,675	529	119	113,340	3,644	3,644	
食品	326,255	117,861	208,394	77,085	2,738	1,012		1,726			131,309	124,120	44	7,165	24		8,915			
飲料・飼料	35,245	1,168	34,077	25,219	2,108	1,041		1,067			8,858			8,599	214		9,924	44	44	
繊維	5		5	0	0	0		0			5			5			5			
木材	203	152	50								50			50			50			
家具	342	21	321	1	1	0		1			320			310	10		321			
パルプ・紙	10,795	3,115	7,680	7,383	4,324			4,324			296			294	2		4,620			
印刷	117	26	91	13	12	9		3			78			71	6	0	80			
化学	2,046	54	1,992	1,809	511	1		510			182			182	0		692			
石油・石炭																				
プラスチック	1,011	282	729	15	15	6		5		4	714			680	34		723			
ゴム																				
皮革																				
窯業・土石	90,453	5,007	85,445	26,377	24,330	17,627		6,411	8	283	59,068		3,600	55,331	18	119	65,771	3,600	3,600	
鉄鋼	33,869	443	33,426	19,615	19,615	19,615		19,615			13,811			13,811			13,811			
非鉄金属																				
金属	8,356	1,088	7,268	307	32			32			6,961			6,916	45		6,993			
はん用機器	7	2	5								5			5			5			
生産用機器	384	208	177								177			14	162	1	177			
業務用機器	2	1	1								1			1			1			
電子部品																				
電気機器	1,044	29	1,014								1,014			1,014			1,014			
情報通信機器																				
輸送用機器																				
その他	475	238	237								237			225	12		237			
電気・水道業	951,007	1,413	949,594	778,170	55,610	2,819		52,791			171,425		23,252	147,846	327	0	224,216	23,252	23,252	
電気業	169,413	67	169,346	25	5			5			169,320		23,252	145,752	316		169,325	23,252	23,252	
ガス業	32		32								32			32		0	32			
上水道業	72,833	1,346	71,487	70,771	5,114	2,819		2,295			716			716	0		3,011			
下水道業	708,729		708,729	707,373	50,491			50,491			1,356			1,345	11		51,847			
運輸・郵便業	3,353	20	3,333	5	2			2			3,328			3,273	53	2	3,330	2	2	
卸・小売業	16,172	1,672	14,500	554	514			509		5	13,945			13,190	754	2	14,459			
宿泊・飲食サービス業	9,232	36	9,196	27	25	4		12	10		9,169			9,094	76		9,191			
医療・福祉	4,819		4,819	113	100			89	10		4,706			4,679	27		4,806			
複合サービス業	13	7	6								6			6			6			
サービス業	3,253	124	3,129	2	0			0			3,127			3,057	62	8	3,127			
その他の業種 ※	4,652	59	4,592	1,355	1,096			1,094		2	3,237			2,472	760	5	4,334			

注) ※欄の「その他の業種」は、情報通信業、金融・保険業、不動産・物品賃貸業、学術研究・専門サービス業、生活関連サービス業、公務の合計値である。

資料4. 産業廃棄物に関する排出事業者及び処理業者への調査

沖縄県内に所在する多量排出事業者等排出事業者 200 件、沖縄県内に所在する全ての産業廃棄物処理業者 174 件に対して産業廃棄物に関する意識調査を実施した。それぞれの回答（有効）の内訳は、排出事業者が 148 件（回答率 74.0% = 148/200）、処理業者 108 件（回答率 62.1% = 108/174）となっている。

1. 排出事業者

問1 有償物の発生、廃棄物の自社処分・保管等について

(1) 貴事業所では、令和4年度に事業活動に伴って生じた物で、他社に有償で売却した物、あるいは自社の原料や燃料等に利用した物が発生しましたか。以下の設問 A から D についてご回答ください。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。

また、発生した場合は、その種類、おおよその量、売却先（県名のみ。海外の場合は国名）、利用用途（わかる範囲で結構です）をご記入ください。

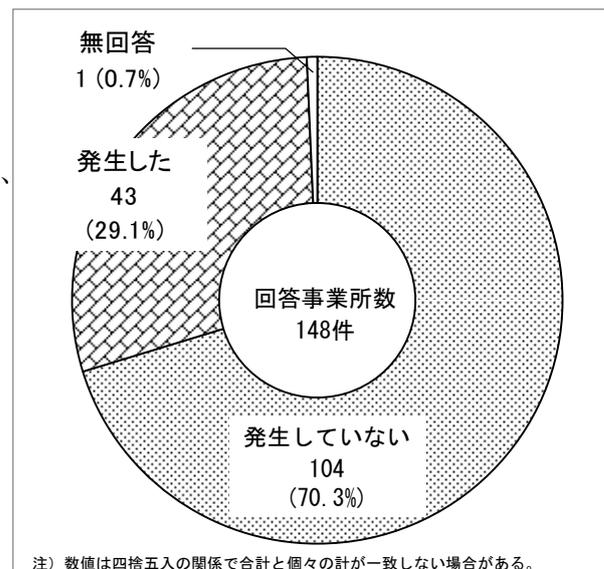
①有償物

事業活動に伴って有償物が発生したと回答のあった事業所は 29.1%（43 件）となっている。

種類別にみると、金属くず、動植物性残さ、ガラス・コンクリート及び陶磁器くず等が多くなっている。

また、主な売却先の地域は沖縄県内となっているが、動植物性残さと鉱さいの一部は県外へ売却されているものもある。

主な種類の利用用途では、金属くずは「鉄原料、再生利用等」、動植物性残さは「堆肥、飼料、肥料等」、ガラス・コンクリート及び陶磁器くずは「売却、原材料等」等となっている。



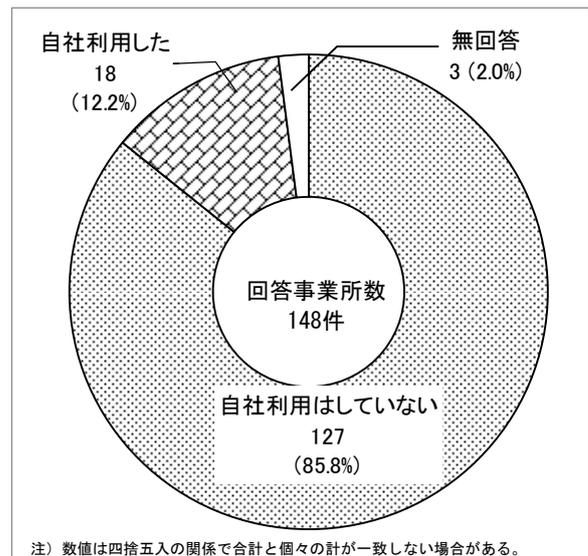
種類	有償物量 (t)	売却先地域 (都道府県)	主な利用用途
金属くず	30,021	沖縄県	鉄原料、再生利用等
動植物性残さ	21,572	沖縄県、愛知県	堆肥、飼料、肥料等
ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	18,573	沖縄県	売却、原材料等
鉱さい	15,135	沖縄県、大阪府	再生利用等
汚泥	8,165	沖縄県	堆肥、再生利用等
がれき類	962	沖縄県	土留め等
燃え殻	678	沖縄県	舗装材や畑の土壌改良等
その他	266		
計	95,372		

② 自社利用した物

自社利用の副産物があると回答のあった事業所は 12.2% (18 件) となっている。

種類別で見ると、動植物性残さが最も多くなっている。

また、主な利用用途では、動植物性残さは「ボイラー燃料、堆肥として還元等」、汚泥は「生コンの練り混ぜ水に利用、堆肥等」となっている。

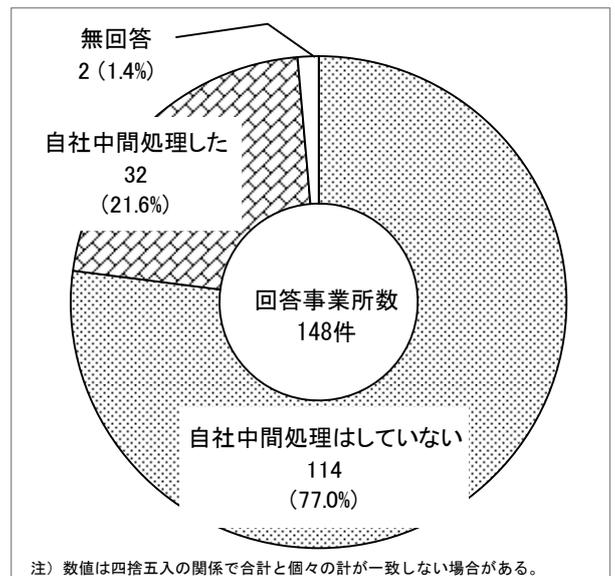


種類	自社利用した量 (t)	主な利用用途
動植物性残さ	82,665	ボイラー燃料、堆肥として還元等
汚泥	13,850	生コンの練り混ぜ水に利用、堆肥等
ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	3,514	トンブロック製作等
金属くず	158	材料として使用等

③ 自社中間処理した物

自社で中間処理したと回答のあった事業所は 21.6% (32 件) となっている。

種類別で見ると、汚泥が最も多く、鉱さい、動植物性残さ等が多くなっている。



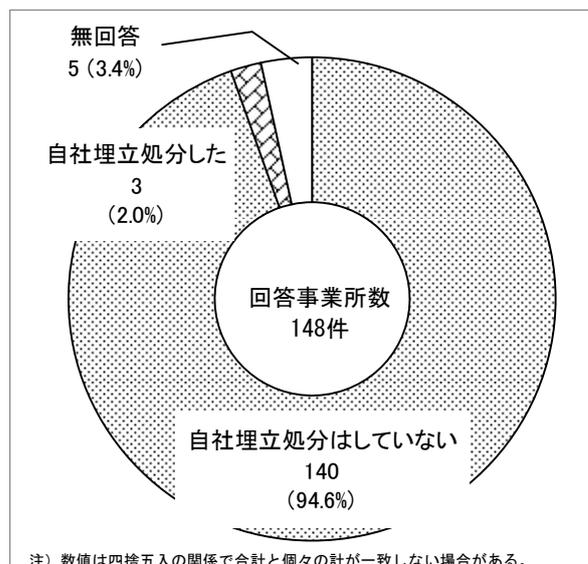
種類	自社中間処理した量 (t)
汚泥	660,223
鉱さい	23,000
動植物性残さ	2,440
がれき類	1,200
廃プラスチック類	120.0
感染性産業廃棄物	88.6
混合物	3.7

④ 自社埋立処分した物

自社埋立処分したと回答のあった事業所は2.0%（3件）となっている。

種類別で見ると、ばいじん、汚泥、燃え殻となっている。

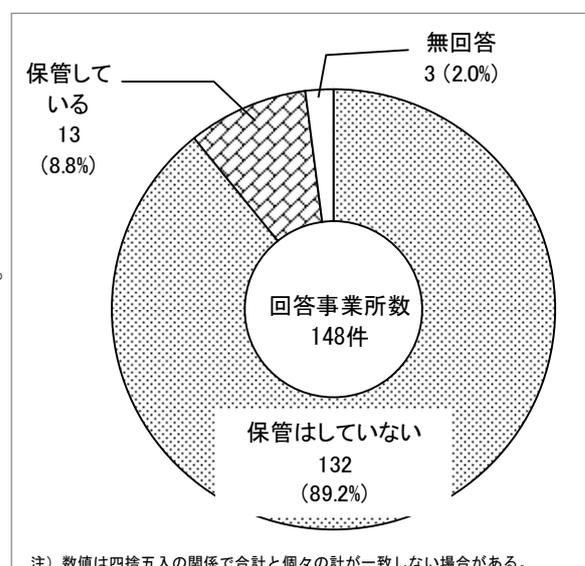
種類	自社埋立処分した量（t）
ばいじん	15,521
汚泥	3,917
燃え殻	1,248



⑤ 自社保管物

自社保管物があると回答のあった事業所は8.8%（13件）であった。

種類別で見ると、未処理保管は鉱さい、ガラス・コンクリート及び陶磁器くず等があり、処理後保管は鉱さい、がれき類等がある。



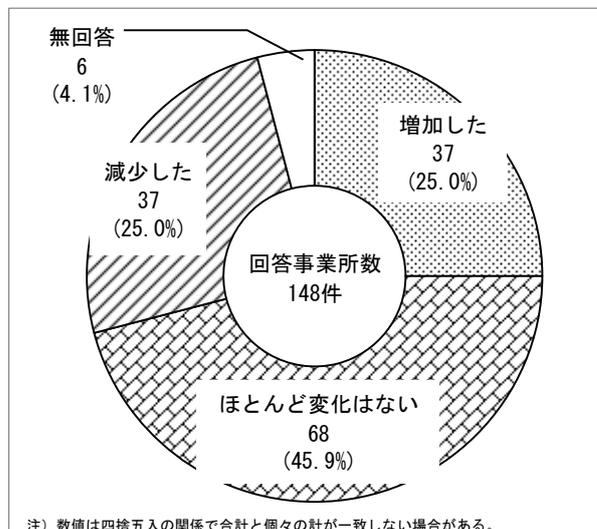
種類	自社未処理保管量（t）	自社処理後保管量（t）
鉱さい	30,000	23,000
ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	1,700	—
ばいじん	803	—
がれき類	230	1,220
汚泥	100	119
廃PCB	6	—
燃え殻	2	1
廃プラスチック	1	—
廃電気機械器具	1	—
金属くず	1	—

問2 産業廃棄物の排出量について

貴事業所における令和4年度の産業廃棄物の排出量は、前年度（令和3年度）に比べて変化しましたか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。また、おおよその増減率、その理由等をお聞かせください。

令和4年度の産業廃棄物の排出量については、前年度と比べて「ほとんど変化はない」と回答した事業所が45.9%（68件）で最も多く、「減少した」が25.0%（37件）、「増加した」が25.0%（37件）となっている。

排出量の増減理由については、以下の表のとおりである。なお、令和4年度においても、新型コロナウイルスの影響がでている事業所もあった。



<増加の理由>（一部抜粋）

増加率	理由
850%	サービス終了に伴う設備撤去。
150%	産業廃棄物の処理にかかる予算の増により、委託処理の量が増加。
120%	重油タンク除却工事（解体）等に伴い、コンクリートがら、アスファルトがらが大量に増加した。※2023年度は、除却工事無い為発生量は大幅に減少する見込み
13.6%	新型コロナウイルス感染症にかかる規約緩和により患者数が増え、防護服や手袋等の使用量が増加したことが原因だと考えられる。

<減少の理由>（一部抜粋）

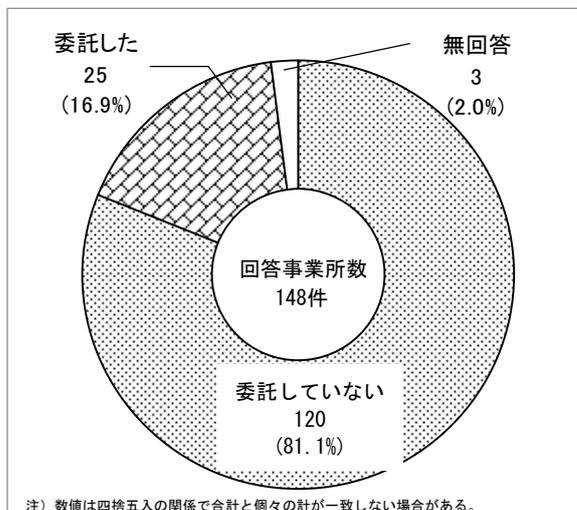
減少率	理由
95.5	廃棄物は、汚水処理により発生するもので、流入汚水に含まれる汚泥量に伴い増減する。
90%	工事が減少した為
50%	コロナの影響により、売上・製造量ともに減少
35.3%	製造量の低下
20%	中間処理業者の引き受け量の制限

問3 産業廃棄物の県外処理委託について

(1) 貴事業所では、令和4年度に県外業者に中間処理を委託しましたか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。また、委託している場合は、主な種類、おおよその量、委託先（県名、業者名）について、ご記入ください。

産業廃棄物の中間処理について、県外業者に処理を「委託した」事業所は16.9%（25件）と1割弱であり、8割弱（120件、81.1%）の事業所は県外業者への委託を行っていない。

県外業者への委託を行っている産業廃棄物の種類は、ばいじん、動植物性残さ等が多く、委託先でみると高知県、大分県への処理委託が多くなっている。

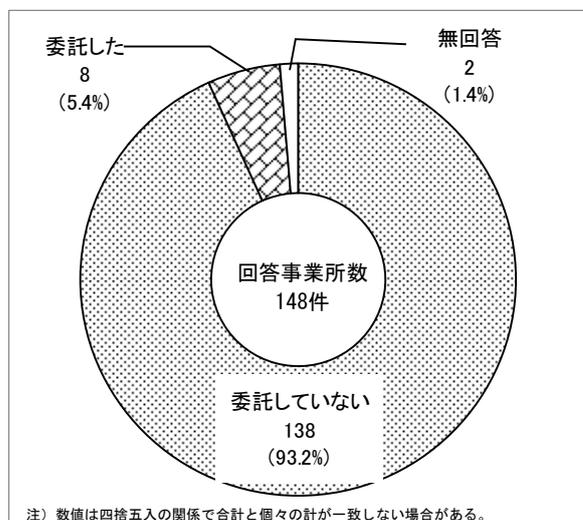


種類	委託量 (t)	県外委託先
ばいじん	21,787	高知県、大分県
動植物性残さ	481	沖縄県、東京都
廃酸	267	兵庫県、福岡県、大阪府
ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	200	茨城県、広島県、福岡県
感染性産業廃棄物	109	沖縄県、福岡県、山口県、兵庫県
廃油	30	鹿児島県、福岡県
混合物	28	鹿児島県
その他	43	

(2) 貴事業所では、令和4年度に県外業者にリサイクル（再生利用）を委託しましたか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。また、委託している場合は、主な種類、おおよその量、主な委託先都道府県名、業者名、利用用途（わかる範囲）について、ご記入ください。

リサイクル（再生利用）について、県外業者にリサイクルを「委託した」事業所は5.4%（8件）と僅かで、約9割（138件、93.2%）の事業所は県外業者への委託は行っていない。

県外業者にリサイクルを委託した産業廃棄物の種類は、汚泥が大部分を占めている。

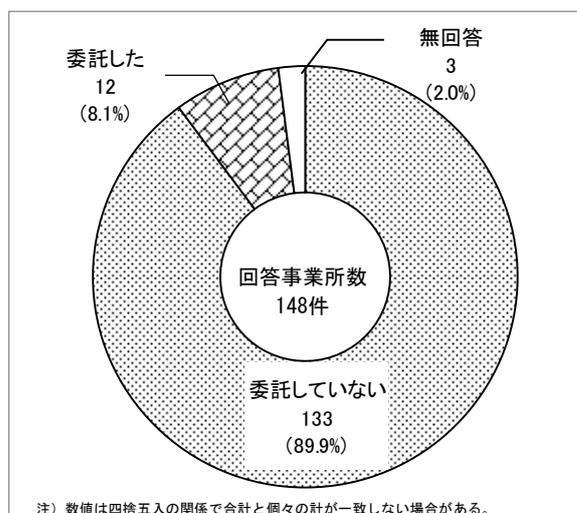


種類	委託量 (t)	主な利用用途	県外委託先
汚泥	2,853	多用途原材料化、肥料、	福岡県、沖縄県、大分県、熊本県
ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	40	グラスウール原料	福岡県
廃プラスチック類	25	—	山口県
廃油	7	燃料化	福岡県
がれき類	2	路盤材等	山口県
その他	0		

(3) 貴事業所では、令和4年度に県外業者に埋立処分を委託しましたか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。また、委託している場合は、主な種類、おおよその量、主な委託先都道府県名、業者名について、ご記入ください。

埋立処分について、県外業者に埋立処分を「委託した」事業所は8.1%（12件）と僅かで、約9割（133件、89.9%）の事業所は県外業者への委託は行っていない。

県外業者への委託を行っている産業廃棄物の種類は、アスベストが最も多く、委託先は主に九州地区が多くなっている。

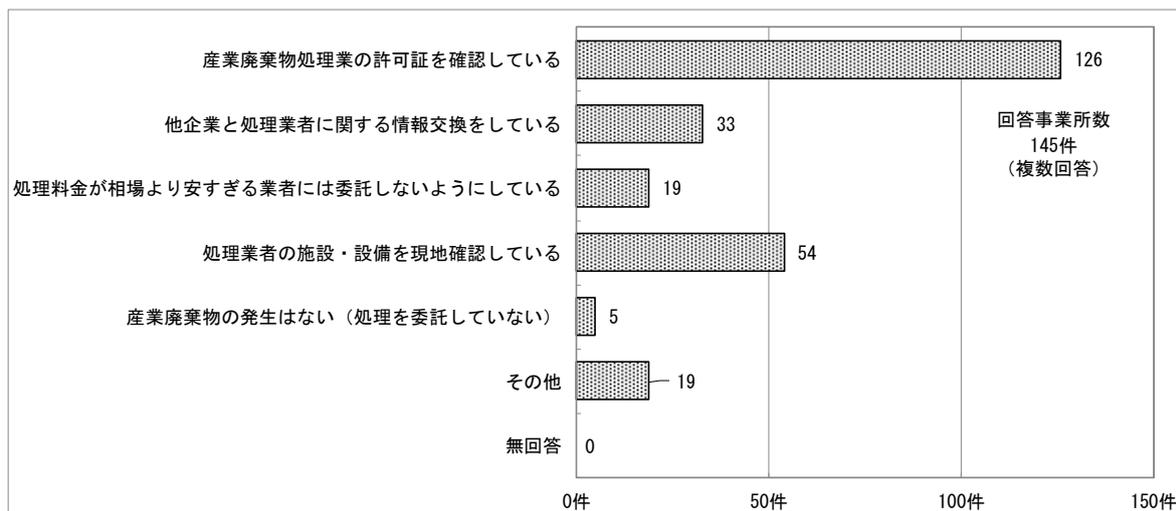


種類	委託量 (t)	県外委託先
アスベスト	246	宮崎県、大分県
汚泥	96	大阪府、宮崎県
燃え殻	63	大分県、福岡県
ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	13	三重県
その他	8	

問4 産業廃棄物の不適正処理防止への取り組みについて

近年、食品廃棄物の不正転売事件など、産業廃棄物の不適正処理が社会問題となっています。貴事業所では、排出する産業廃棄物の不適正処理防止対策として、どのような取り組みを行っていますか。該当する番号に○をつけてください(複数回答可)。

搬出する産業廃棄物の不適正処理防止対策としては、「産業廃棄物処理業の許可証を確認している」(126件)が最も多く、次いで「処理業者の施設・設備を現地確認している」(54件)、「他企業と処理業者に関する情報交換をしている」(33件)となっている。



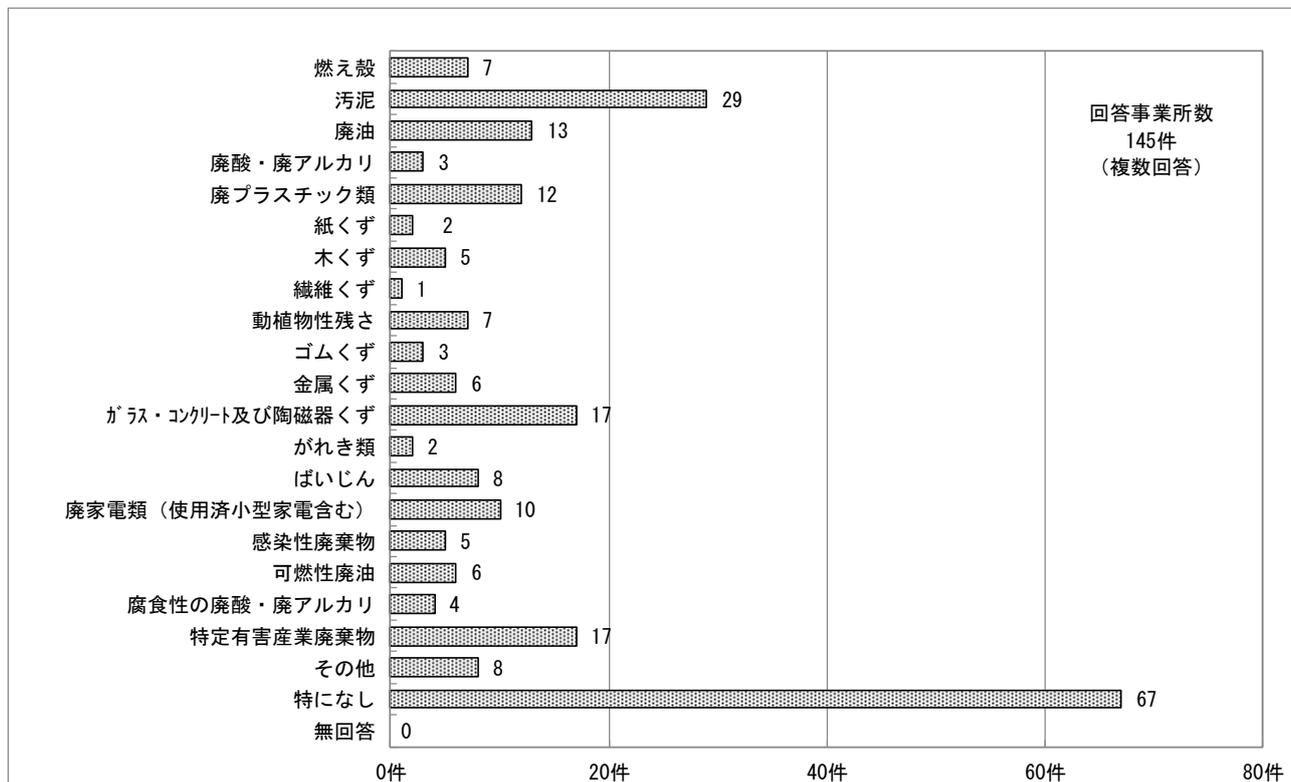
<その他>

県のホームページで許可番号も確認している。
優良企業への委託を優先している。
優良認定産業廃棄物収集運搬業者を確認している。
電子マニフェストの利用。
沖縄電力グループ全体で信頼度の高い業者の情報を共有している。
マニフェストやタグ等で処理が適切に行われていることを確認。

問5 処理施設の不足している産業廃棄物の種類について

沖縄県では、公共関与による産業廃棄物最終処分場を整備しており、令和元年12月に「安和エコパーク」が供用開始しています。しかしながら、依然として県内において、処理施設が不足していると感じる産業廃棄物の種類はありますか。該当する番号に○を付けてください(複数回答可)。

県内において、不足していると感じる産業廃棄物の種類は、「汚泥」(29件)が最も多く、次いで「ガラス・コンクリート及び陶磁器くず」(17件)、「特定有害産業廃棄物」(17件)となっている。



<その他>

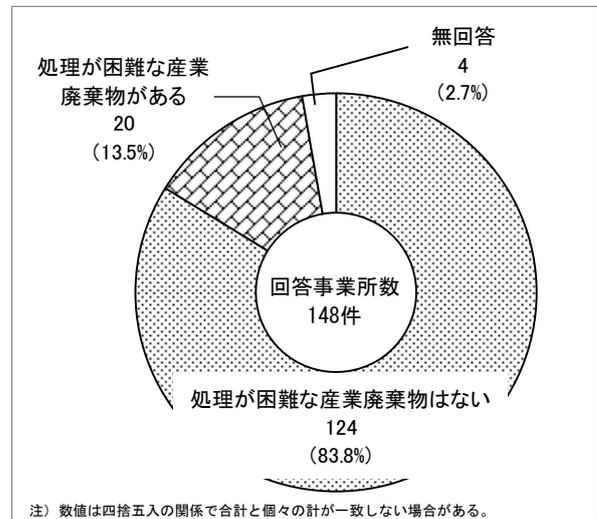
リチウム
水銀使用製品、石綿含有建材
FRP
廃石綿
太陽光パネル等
二次電池
スラッジ
蛍光管

問 6 処理困難物について

貴事業所では、排出する産業廃棄物のうち、処理が困難な産業廃棄物がありますか。該当する番号を1つ選び、○を付けてください。

処理が困難な産業廃棄物について、「処理が困難な産業廃棄物はない」が83.8%（124件）、「処理が困難な産業廃棄物がある」が13.5%（20件）と、処理が困難な産業廃棄物はないと答えた事業所が多い。

処理が困難な産業廃棄物の種類、性状、その原因は、以下の表のとおりである。



< 処理が困難な産業廃棄物の種類、性状、その原因 > (一部抜粋)

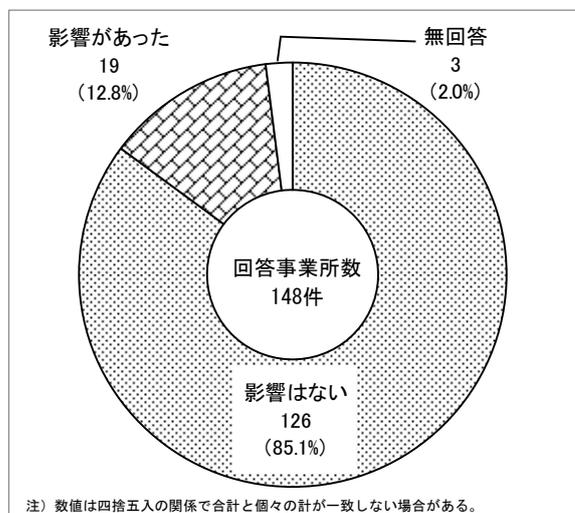
トラックラジータ車のドラムを洗浄した残土の処理が困難。 セメント成分由来の強アルカリ性のため。
泡盛蒸留粕、麦芽粕共に水分が多い
廃水銀、劇物（亜セレン酸、重クロム酸カリウム） 引き取り出来る県内業者が少ない。数社の県内業者が引取可能であるが、県内では処理できず、処理金額が高額となる。
安定器や小型家電の再生事業者がなく、処理に困っている。（膨張した電池類などの処理含む） また、県内に適切な処理を任すことのできる焼却施設の設置が望ましい。
生コン再利用水から出る汚泥、又はスラッジ廃棄物。処理業者が少ない。
泥状の汚泥。 県内の産廃業者では脱水汚泥しか処理できないと断られた。
廃タイヤ・重機ゴムクローラー。 引取業者が無い。

問7 産業廃棄物に対する新型コロナウイルス感染症の影響について

貴事業所では、令和4年度に排出した産業廃棄物のうち、その種類や数量について、新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたか。該当する番号を1つ選び、○を付けてください。

新型コロナウイルス感染症の影響について、「影響はない」と回答した事業所が85.1%（126件）で、「影響があった」が12.8%（19件）となり、影響があった事業所が約1割であった。

新型コロナウイルス感染症の影響については、以下の表のとおりである。



<新型コロナウイルス感染症の影響>（一部抜粋）

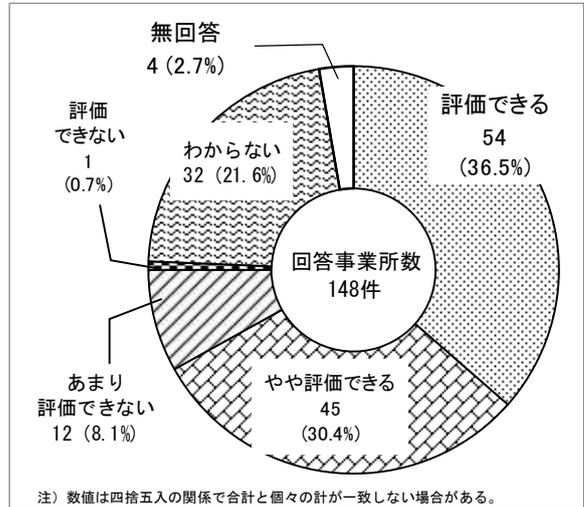
感染性廃棄物が前年度比約10.5トン増加した。
コロナウイルスのクラスターによる、感染症廃棄物の増量が見られた。
コロナ以前より観光客数減少に伴い下水流入水量減少に繋がり、また脱水汚泥量（肥料登録済み）にも繋がっております。
ガウン、手袋等、患者様対応時の消耗品の増加。
ディスポ商品の医療消耗品の増加の影響による廃棄物の増加
規約緩和に伴う患者数の増加により、防護服や手袋、マスクなどの使用が増えた。
昨年度に引き続き感染症廃棄物の排出量が増加し、前年度比2.24%の増加となった。
原料不足から生産量が減少し、売上も不振が続き経営に影響が出た。
業績の低迷により業務が減少し、併せて廃棄物も減少した。

問 8 産業廃棄物税について

(1) 沖縄県では、平成 18 年 4 月 1 日から「産業廃棄物税（法定外目的税）」を導入しています。その税収は、産業廃棄物の排出抑制、再生利用、適正処理を推進するため、①公共関与による産業廃棄物最終処分場の周辺環境整備、②事業者等による排出抑制・リサイクル等への支援、③処理業の優良化の促進、④不法投棄等防止対策等の施策に充てています。貴事業所では、これらの税収の使途・事業等について、どのようにお考えですか。該当する番号を 1 つ選び、○をつけてください。

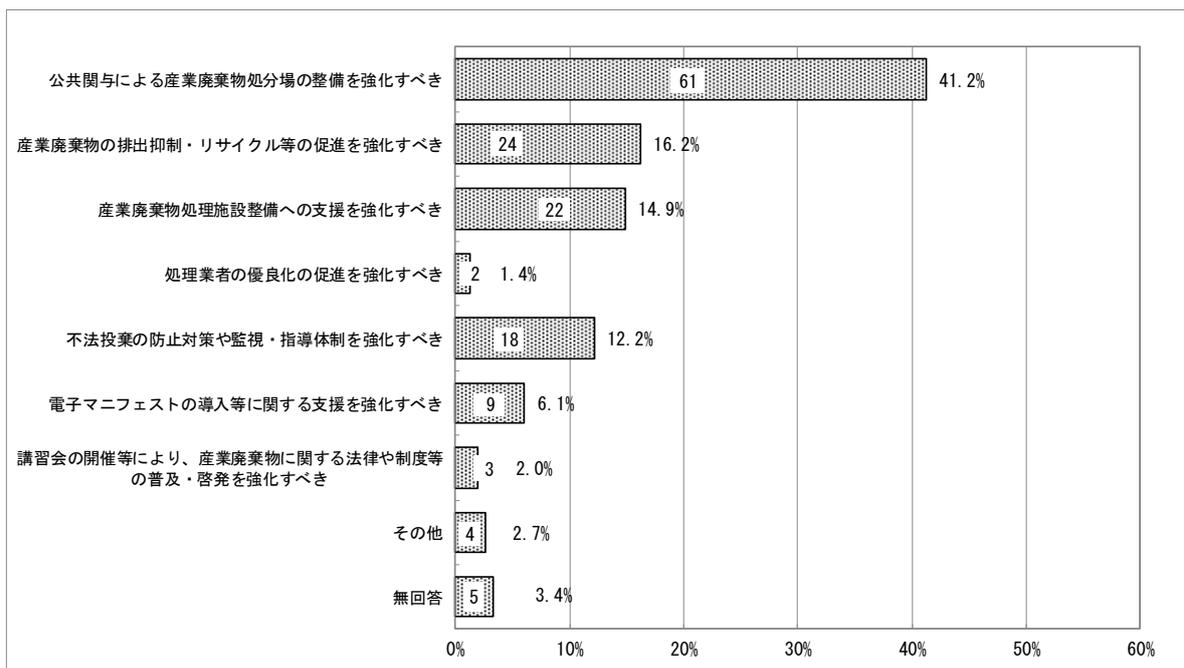
税収の使途・事業等については、「評価できる」が 36.5%（54 件）で、「やや評価できる」（45 件、30.4%）を合わせると約 7 割（66.9%）を占めている。

一方、「あまり評価できない」は 8.1%（12 件）、「評価できない」は 0.7%（1 件）で、「わからない」が 21.6%（32 件）となっている。



(2) 貴事業所が望む税収の使途・事業等について、該当する番号を 1 つ選び、○をつけてください。

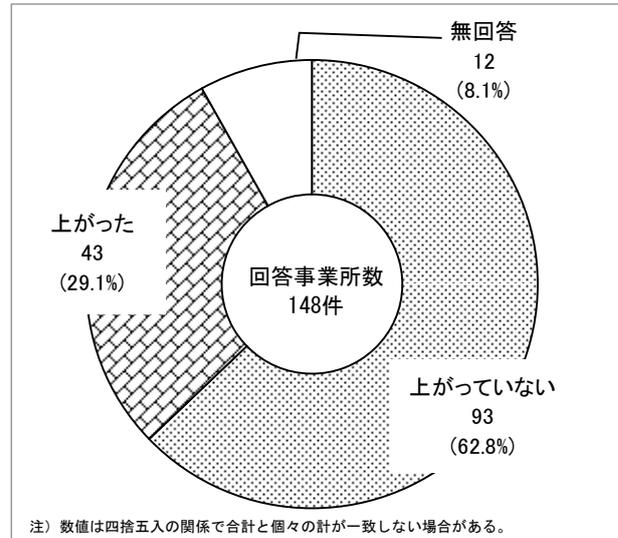
排出事業者が望む税収の使途・事業等については、「公共関与による産業廃棄物処分場の整備を強化すべき」（61 件、41.2%）が最も多く、次いで、「産業廃棄物の排出抑制・リサイクル等の促進を強化すべき」（24 件、16.2%）、「不法投棄の防止対策や監視・指導体制を強化すべき」（22 件、14.9%）等の意見が多くなっている。



問9 処理費用について

近年物価が高騰傾向にあります。貴事業所では、令和4年度に処理（収集運搬・中間処分・最終処分等）を委託した産業廃棄物の処理単価は、前年度（令和3年度）と比較して上がりましたか。

処理を委託した産業廃棄物の処理単価については、「上がっていない」と回答した事業所が62.8%（93件）で、「上がった」が29.1%（43件）であった。



<委託した処理単価の前年度との比較>（一部抜粋）

<p>収集運搬費：50% 木くず：33% がれき類：10% 廃プラスチック類：33%</p> <p>事前の価格変更の申し入れも無いまま、一方的に値段変更をされている。沖縄の産廃業者は質が悪い。</p>
<p>委託業者より、処理費用高騰のためと値上の提示があり、感染性廃棄物、非感染性廃棄物ともにキロ単価3円の値上げとなった。</p>
<p>令和3年度と比較して廃プラスチック類、木くず、金属くず、ゴムくず、混合廃棄物でそれぞれ5～10円処分品の単価が上がり、収集運搬費も2万円程度単価が上がっている。</p>
<p>グリストラップ廃油処理業務 処理単価（収集運搬及び処分）38円/ℓ→40円/ℓ。</p>
<p>給食残飯処理業務 処理単価（収集運搬及び処分）25円/1kg→31.9円/kg</p>
<p>動物性排泄物収集運搬業務 処理単価（収集運搬及び処分）30円/kg→40円/kg</p>
<p>運搬費用及び処分費用が全体的に増加しております。 原因：燃料費用の増加・処分施設の閉鎖など。</p>
<p>収集運搬費が全体的に2,000円/台程度上がった。 中間処分費は廃プラスチック類が10,000/t程度上がった。</p>
<p>単位当たりの下水汚泥（脱水汚泥）が2%、下水汚泥（し渣・沈砂）が3%、蛍光灯・水銀灯が21%上がった。</p>
<p>当社はセメント製造業者に産廃全量をリサイクル処理委託しているが、処理費（500円/tが1,500円/t）、運搬費（7,000円/回が9,000円/回）に値上げした。</p>
<p>汚泥（浄水発生土）最終処分 R3：13,000/ℓ→R4：14,500円/ℓ</p>
<p>R4年11月より感染症廃棄物処理単価¥120/kgから¥123/kgへ価格改定があった。</p>

問 10 その他

産業廃棄物の処理等に関する課題・問題点、県に対する要望等、ご自由にご記入ください。

産業廃棄物の処理に関する課題や問題点、県への要望は以下のとおりであった。離島における処理体制、産廃処理にかかる料金、調査方法の検討、リサイクルへの促進強化等、様々の意見をいただいた。

産業廃棄物処理等に関する課題・問題点・要望等
<ul style="list-style-type: none">・ 沖縄県内において焼却の中間処理設備が少ないように感じます。弊社では定期的に安和エコパークの現地確認を実施しておりますが、焼却したら減量化が図れそうな廃棄物が多く混在しているように思えた。・ 安和エコパークの被覆移設工事における受け入れ停止期間が長いように感じます。県内で安定した管理型埋め立て処分場のため、早期の復旧を望みます。(受け入れ停止期間が長いと廃棄物の長期期間や不法投棄等のリスクが生ずると思われる。)
弊社は発電所で有り、燃焼灰(ばいじんや燃え殻に該当)が排出される。県外に産業廃棄物を排出した実績はないが、リスク回避のため今後検討をしている。県外排出は高額であるため、大量に引き受けることのできる業者及び施設をより拡充させている。
廃棄物に精通する担当者がいないため、県への報告・届出など、不備が発生する恐れがあり不安である。 電子マニフェストを使用し、年間排出量の件への報告は自動的に行っているが、その他多量排出事業者の届出等にも該当するのであれば、県から事業者側へ対象となっている旨を通知する等の仕組みがあればありがたい。
感染性廃棄物の収集、運搬、処分業者が少なく、当院の排出量に対応可能な業者としては1社となる。必然的に契約せざるを得ないため、毎年比較評価を行い、複数の業者から選定できることが望ましい。
依頼文書発出日が8月4日付けとなっておりますが、当方にて受領出来たのが9月19日であり、締切日である9月25日迄の日程に余裕が無い為、回答精度に万全を期し難いものが有ります。 昨年も同様な事態が発生しています。 不躰なお願いですが次年度からは改善の程、何卒宜しくお願い致します。
弊社が現在、名護エコパークに処理を委託している鋳物砂は環境基準値ではあるが、管理型の埋め立て地に処理することになっている。 県で鋳物砂の処理区分を見直してほしい。 ※現在、産業廃棄物を有機物へ改善しコスト削減への取り組みの妨げになっている。
沖縄県の産廃処理にかかる料金は、他府県に比べ以上に高い。孤立県が理由とは言え高すぎる。処理施設にしても野天保管場がほとんどで、とても優秀な処理業者とは思えない。処理料金を安くしてほしいと言わないが、極端に高いと感じる。処理についてもマニフェストに書かれている処理方法も信用してよいか甚だ疑問だ。いい加減な処理ではないかと疑う。我社で取引している業者に問題があるのか？。行政ももっと処理業者への指導を徹底して、不良業者は淘汰し、優良な業者の育成に努めて欲しい。昨年も同じ調査を受けたが、何ら変化が感じられない。この調査の意義に疑問を感じる。

2. 処理業者

問 1 産業廃棄物の受入、処理状況について

令和3年度及び令和4年度に、貴事業所の処理施設（県内所在の施設のみ）で受け入れた産業廃棄物について、以下の表に示す年間受入量等の実績をご記入ください。おおよそで結構です。

会社(事業所)名	①中間処理量		②中間処理後の残 さ量		③中間処理後残さ の再生利用量		④中間処理後残さ の中間処理量		⑤中間処理後残さ の埋立処分量		⑥埋立処分量	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
オバス株式会社	3,467	4,883	3,467	4,883	3,467	4,883	0	0	0	0	0	0
アイ・アール株式会社	49,090	57,854	445	533	380	152	44	152	21	229	0	0
株式会社 山城砕石鉱業	22,935	21,397	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有限会社 吉田開発	3,579	1,407	2,098	141	2,098	141	0	0	0	0	0	0
農業生産法人有限会社あ らぐさ	124	120	788	72	788	72	0	0	0	0	0	0
有限会社 総合油脂	2,685	2,928	662	719	0	0	662	719	0	0	0	0
先嶋産廃リサイクルセン ター	12,536	24,122	12,536	24,122	12,536	24,122	0	0	0	0	0	0
協和工業株式会社 リサイ クルセンター	15,610	24,800	1,410	97	1,410	97	0	0	0	0	0	0
株式会社宮里 資源リサイ クルセンター	15	39	11	39	4	16	11	23	0	0	0	0
株式会社ふじ産業	352	463	332	421	179	213	153	192	0	16	0	0
株式会社マルイ	1,401	1,359	1,401	1,359	0	0	1,249	1,256	152	103	0	0
有限会社 クリーンアイラン ド	1,247	1,546	1,247	1,546	1,095	1,300	152	246	0	0	0	0
有限会社 クリーンアイラン ド	276	259	14	12	0	0	14	12	0	0	0	0
(有)沖縄廃プラスチック産 業	495	416	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(株)山一産業	65	347	400	3,223	400	3,223	0	0	0	0	0	0
株式会社バイオマス再資 源化センター	20,553	222,778	18,607	20,644	18,571	20,608	36	36	0	0	0	0
有限会社 クリーンリサイク ル	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(株)琉球技研	2,332	1,405	37	21	37	21	0	0	0	0	0	0
丸尾建設株式会社	6,006	4,111	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福山商事株式会社	30,552	27,952	0	0	28,706	25,639	0	0	0	0	0	0
仲座 正人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
代表社員 長尾 明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合同会社 3K	48	36	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上門工業株式会社	4,958	893	2	2	22	12	24	14	0	0	0	0
株式会社 沖縄丸和	4,945	4,074	544	367	544	367	0	0	0	0	0	0
株式会社オキセイ産業	10,562	9,657	10,562	9,657	2,793	2,323	6,144	5,820	1,625	1,514	0	0
(有)共生産業	5,017	7,529	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
国洋建設株式会社	6,773	5,098	147	85	142	84	1	0	5	0	0	0
有限会社 共栄産業	0	0	4,278	2,494	4,278	2,494	0	0	0	0	0	0
有限会社ニューサウスウイ ンド	1,570	1,100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(有)美ら島エコクリーン	811	1,300	20	40	18	30	0	0	0	0	0	0
有限会社 丸伊産業	151	157	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社 新伸興業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(株)平良土建	11,214	14,059	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有限会社 火の国産業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社 沖縄開発工業	2,149	2,116	2,367	2,394	2,229	2,245	138	149	0	0	0	0
沖縄県畜産副産物事業協 同組合	619	562	204	176	0	0	204	176	0	0	0	0

会社(事業所)名	①中間処理量		②中間処理後の残 さ量		③中間処理後残さ の再生利用量		④中間処理後残さ の中間処理量		⑤中間処理後残さ の埋立処分量		⑥埋立処分量	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
株式会社森岡産業	44,715	20,653	43,423	19,954	42,575	19,109	770	767	78	78	0	0
池村 兼信	2,713	3,756	0	0	931	3,547	0	0	0	0	0	0
有限会社 仲正組	971	749	686	1,302	686	1,302	0	0	0	0	0	0
大成ロテック株式会社 沖 縄合材工場	17,097	7,784	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社沖縄有機	13,273	13,255	13,286	13,233	13,286	13,253	0	0	0	0	0	0
(有)山栄土建	482	2,925	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有限会社 与勝鉱産	18,270	14,407	0	0	16,679	12,051	0	0	0	0	0	0
有限会社 宮城解体	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社 紅 樹	4,363	3,960	4,363	3,960	4,363	3,960	0	0	0	0	0	0
(有)中道環境開発	2,440	5,818	1,708	4,072	1,708	4,072	0	0	0	0	0	0
株式会社金武有機堆肥セ ンター	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社 金光産業	1,364	1,261	1,362	1,261	1,362	1,261	1	0	0	0	0	0
株式会社 与儀組	768	252	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社 山勝組	5,847	4,334	41	1,044	40	1,044	1	0	0	0	0	0
本部生コン株式会社(本部 産業廃棄物最終処分場)	36,793	34,986	0	0	0	0	0	0	0	0	56	84
大野産業株式会社	39	42	82	99	66	79	16	20	0	0	0	0
育農開発株式会社	8	8	5	6	5	6	0	0	0	0	0	0
有限会社 友 伸	1,100	0	568	0	110	0	0	0	458	0	0	0
琉球セメント(株)屋部工場	116,400	111,810	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
九州バイオカーボン 株式 会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社 盛厨房設備	18	0	18	0	9	0	5	0	4	0	0	0
琉球開発(株) 本社工場	44,495	39,676	8,362	7,941	8,357	7,935	5	6	0	0	0	0
株式会社 照屋土建	39,832	47,040	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有限会社宮古環境保全セ ンター	140	150	455	680	400	350	34	246	21	84	0	0
有限会社 手水産業	45,505	47,125	35,375	39,560	35,375	39,560	0	0	0	0	0	0
株式会社 光洋	933	1,381	0	0	0	765	933	616	0	0	0	0
(株)拓琉リサイクル研究セ ンター	4	2	4	2	3	2	0	0	0	0	0	0
有限会社フジ砕石	64,723	56,868	589	591	0	0	589	591	0	0	0	0
(有)高原建設	41,000	47,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社 沖縄計測	4	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社 とみしろ建材	43,333	48,135	43,333	48,135	32,275	36,197	7,648	9,095	3,410	2,843	0	0
有限会社 松島開発	2,414	1,926	1,298	1,158	0	0	0	0	236	196	1,062	962
株式会社 日光建設	9,585	12,855	9,585	12,855	9,585	12,855	0	0	0	0	0	0
株式会社コパキユウ	21,859	5,527	5,007	1,744	4,279	1,700	0	0	0	0	0	0
辺野古木炭創業企業組合	4,000	3,000	3,400	2,500	3,400	2,500	0	0	0	0	0	0
株式会社 積水化成成品沖 縄	31	23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社 環境施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社環境開発公社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社つは山環境	98,248	14,757	564	25	2	15	503	4	60	6	0	0
沖縄テクノクリート 株式 会社	2,682	2,415	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
農業生産法人株式会社 もとぶ牧場	69	91	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(有)大開発	71,060	60,120	71,060	60,120	71,060	60,120	0	0	0	0	0	0
(株)東洋土木工業	3,727	1,116	2,677	1,116	1,050	1,100	1,627	16	0	0	0	0

会社(事業所)名	①中間処理量		②中間処理後の残 さ量		③中間処理後残さ の再生利用量		④中間処理後残さ の中間処理量		⑤中間処理後残さ の埋立処分量		⑥埋立処分量	
	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度	令和3年度
有限会社先島メンテナンス	11,460	7,292	13,006	7,566	12,355	7,143	651	423	0	0	1,742	1,720
有限会社バイオクリーン	384	350	96	88	96	88	0	0	0	0	0	0
株式会社 川橋建設	41,935	43,286	41,935	43,286	41,934	43,274	1	12	0	0	0	0
(株)沖広産業	2,351	6,779	10	3	2	0	5	3	3	0	11,170	12,945
(株)山城組	3,228	5,106	3,228	5,106	3,228	5,106	0	0	0	0	0	0
(株)沖広開発	0	7,740	0	7,740	0	168	0	3,535	0	4,037	0	0
有限会社 みのり	2,365	1,832	5,422	4,201	5,422	4,201	0	0	0	0	0	0
(有)環境整備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社 沖縄公衆衛生	746	0	597	0	597	0	0	0	0	0	0	0
有限会社 三友	270	800	270	800	50	350	0	0	220	450	0	0
株式会社美玉開発	680	420	620	380	620	380	0	0	0	0	0	0
株式会社 沖縄クリーン工 業	29,827	20,580	20,829	17,552	20,395	16,916	325	371	109	265	0	0
株式会社S&Kみやこ島	1,690	1,675	169	165	169	165	0	0	0	0	0	0
有限会社 協同化工	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有限会社 大分メスキュー ド沖縄営業處	99,329	46,589	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(有)大幸産業	420	342	140	114	0	0	140	114	0	0	0	0
美リサイクル(下地敏昭)	1,557	284	1,557	284	2,166	277	0	0	0	0	0	0
株式会社 久和建創	8,214	6,562	8,214	6,562	8,214	6,562	0	0	0	0	119	671
株式会社 山元産業	1,359	1,737	669	1,128	669	1,128	0	0	0	0	0	0
有限会社 沖縄ファーム	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
株式会社 真	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
拓南商事 株式会社	1,097	1,145	1,023	550	939	395	0	0	84	155	0	0
株式会社 八重島工業	7,470	7,778	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
昭和化学工業株式会社	1	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
沖縄県医療廃棄物事業協 同組合	2,091	2,047	62	61	0	0	62	61	0	0	0	0
株式会社 倉敷	22,400	37,299	4,945	9,520	0	0	4,945	9,520	0	0	7,152	1,349
株式会社 環境ソリュー ション	13,554	13,360	86,702	6,129	0	0	2,300	2,624	6,270	3,505	0	0
沖縄県環境整備センター 株式会社	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,694	7,995
牧港商事(株)	2,044	2,173	2,044	2,173	85	82	50	271	981	1,043	0	0

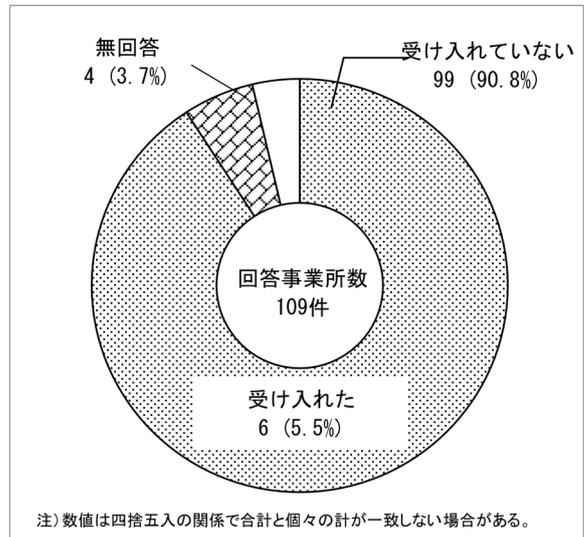
問 2 米軍廃棄物の受入について

貴事業所では、令和4年度に米軍基地からの廃棄物等（①有価物・有償物、②産業廃棄物、③一般廃棄物のいずれか）を受け入れましたか。以下の設問に該当する番号を1つ選び、○をつけてください。なお、受け入れた場合は、年間の受入総量とそのうち上位3件の排出場所（基地名）、年間の受入量、主な種類、資源化用途、処理方法等を記入してください。

①有価物・有償物について

米軍基地から有価物・有償物を「受け入れた」と回答した事業所は5.5%（6件）となっている。

回答のあった事業所について、排出場所（基地名）、年間受入量、主な種類等をまとめると、以下のとおりである。

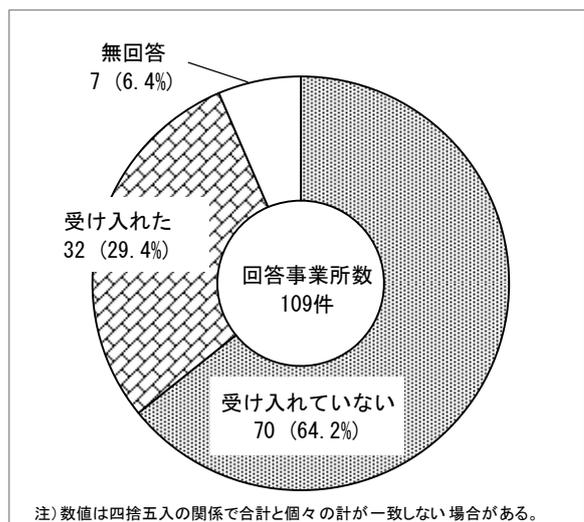


排出場所(基地名)	年間受入量 (t)	主な種類	主な資源化用途
キャンプ・キンザー	1,589	鉄スクラップ	製鋼原料
嘉手納飛行場	689	発泡スチロール、鉄屑、スチール缶屑、アルミ缶屑、ペットボトル	鉄・アルミ原料、リサイクル（圧縮）、プラスチック原料
在沖海兵隊基地	525	鉄くず・スチール缶屑	鉄原料
キャンプ・ハンセン	287	金属くず	スクラップ
キャンプ・フォスター	30	ペットボトル	プラスチック原料

②産業廃棄物について

米軍基地から産業廃棄物を「受け入れた」と回答した事業所は29.4%（32件）となっている。

回答のあった事業所について、排出場所（基地名）、受入量、主な種類等をまとめると、以下(次頁)のとおりである。

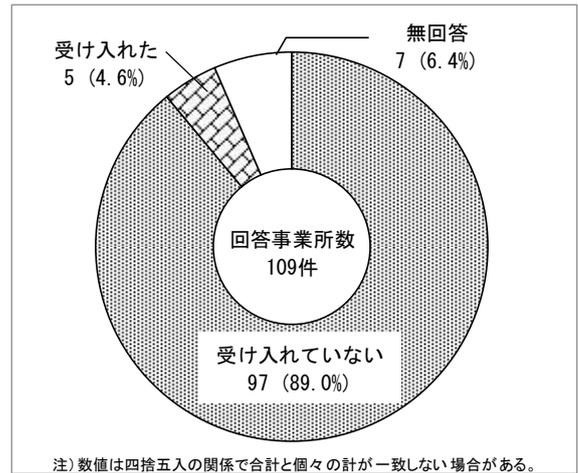


排出場所(基地名)	年間受入量 (t)	主な種類	主な処理方法
キャンプ・フォスター	33,976	汚泥	焼却
		ゴムくず	切断・破碎
		がれき類	再生利用、中間処理、破碎
		木くず	破碎
		混合物	選別、破碎、研磨・洗浄、固化
嘉手納飛行場	9,107	汚泥	脱水、固液分離
		ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	焼却処分
		がれき類	再生利用、中間処理(破碎)、破碎
		混合物	選別、破碎、研磨・洗浄、固化、焼却、圧縮
キャンプ・ハンセン	3,676	汚泥	焼却、中間処理(堆肥化)
		がれき類	破碎
		木くず	破碎
キャンプ・シュワブ	2,142	汚泥	発酵(堆肥化)、焼却
		がれき類	破碎
		木くず	破碎
		混合物	選別、破碎、研磨・洗浄、固化
普天間飛行場	1,717	がれき類	破碎
		木くず	破碎
泡瀬通信施設	1,443	がれき類	破碎
キャンプ・コートニー	1,171	汚泥	中間処理(堆肥化)
		ゴムくず	切断・破碎
		がれき類	破碎
ホワイト・ビーチ地区	757	汚泥	固液分離
		がれき類	破碎
キャンプ・キンザー	632	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	焼却処分
		がれき類	破碎
		木くず	破碎
		廃電気機械器具	破碎
キャンプ・レスター	357	汚泥	中間処理(造立固化)
		がれき類	破碎
嘉手納弾薬庫	326	木くず	破碎
トリイ通信施設	252	がれき類	アスファルト再生路盤材
		木くず	破碎
キャンプ・シールズ	107	汚泥	固液分離、中間処理(造立固化)
キャンプ・キャンサー	2	ゴムくず	切断・破碎

③一般廃棄物について

米軍基地から一般廃棄物を「受け入れた」と回答した事業所は4.6%（5件）となっている。

回答のあった事業所について、排出場所（基地名）、受入量、主な種類等をまとめると、以下のとおりである。



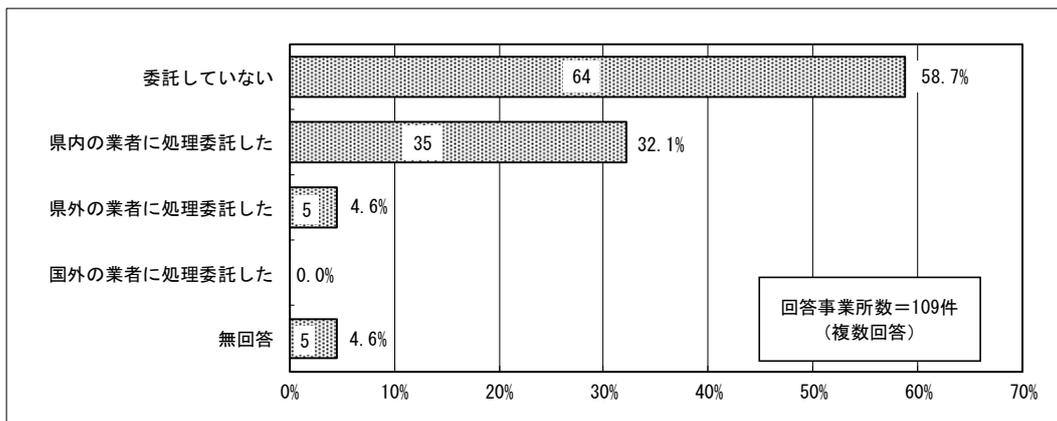
排出場所(基地名)	年間受入量 (t)	主な種類	主な処理方法
嘉手納飛行場	7,715,370	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	破碎
		混合物	焼却
キャンプ・フォスター	1,612,077	混合物	焼却
キャンプ・キンザー	634,754	混合物	焼却
キャンプ・ハンセン	1,845	混合物	焼却、破碎、圧縮
キャンプ・コートニー	558	混合物	焼却、破碎、圧縮
キャンプ・シュワブ	532	混合物	焼却、破碎、圧縮

問3 中間処理残さ物の処分について

(1) 貴事業所では、令和4年度に自社中間処理後の残さ物を県内・県外業者または国外業者に処理委託しましたか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。また、委託した場合は、主な種類、おおよその量、委託先（都道府県名（国名）、業者名）など委託内容について、ご記入ください（主な種類2つまで）。

中間処理後の残さ物の処分については、「委託していない」（64件、58.7%）が最も多く、次いで、「県内の業者に処理委託した」が32.1%（35件）、「県外の業者に処理委託した」が4.6%（5件）となっている。

また、県内及び県外委託の内容（種類、委託量、委託先等）については以下のとおりである。



＜県内委託の状況＞

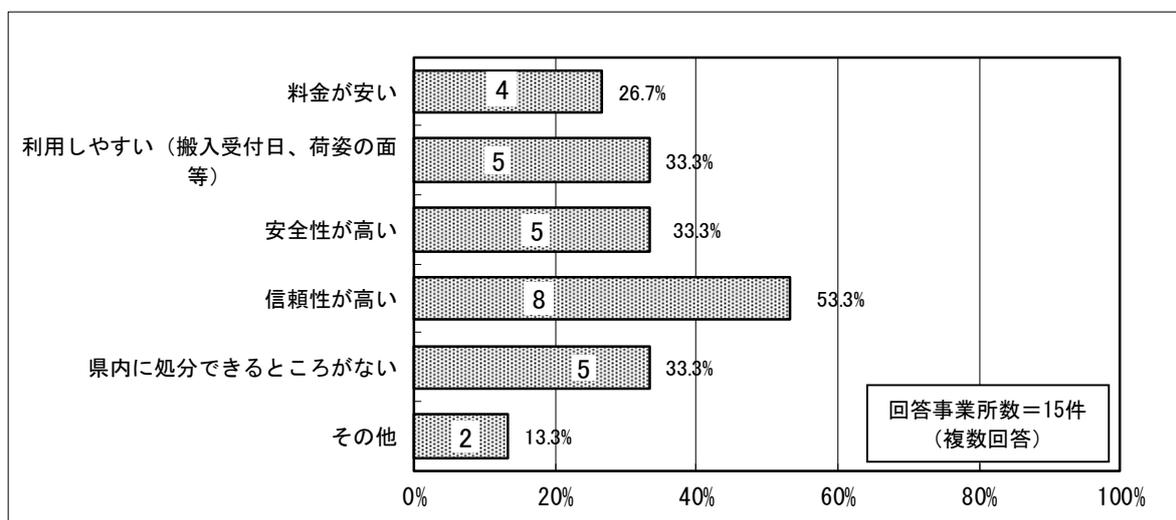
委託の内容	主な種類	年間委託量 (t)
中間処理	燃え殻	5,007
	混合物	3,908
	汚泥	748
	金属くず	565
	木くず	532
	廃プラスチック	248
	動物の死体	204
	紙くず	94
	廃油	42
	管理型混合廃棄物	8
再生利用	木くず	25,878
	廃プラスチック類	6,341
	混合物	1,095
	金属くず	887
	ガラス・コンクリー	840
	汚泥	341
	がれき類	57
	燃え殻	53
	紙くず	50
埋立処分	混合物	5,866
	廃プラスチック類	975
	燃え殻	236
	動植物性残さ	220
	ガラス・コンクリー	5
	金属くず	0

＜県外委託の状況＞

委託の内容	主な種類	間委託量 (t)	委託先
中間処理	廃プラスチック	99,481	熊本県、山口県
	木くず	651	熊本県
	混合物	355	鹿児島県
	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	91	福岡県
	感染性産業廃棄物	72	山口県
再生利用	ガラス・コンクリート及び陶磁器くず	268	福岡県
	廃油	95	福岡県
	蛍光灯	35	北海道
埋立処分	ばいじん	970	宮崎県、大分県、三重県

(2) 上記設問で「3 県外の業者に処理委託した」、「4 国外の業者に処理委託した」に○印をつけた方にお聞きします。それはどのような理由ですか。該当する番号に○印(2つまで)をつけてください。

県外委託の理由については、「信頼性が高い」(8件、53.3%)が最も多くなっている。次いで、「県内に処分できる場所がない」と「利用しやすい」と「安全性が高い」(5件、33.3%)となっている。



<その他>

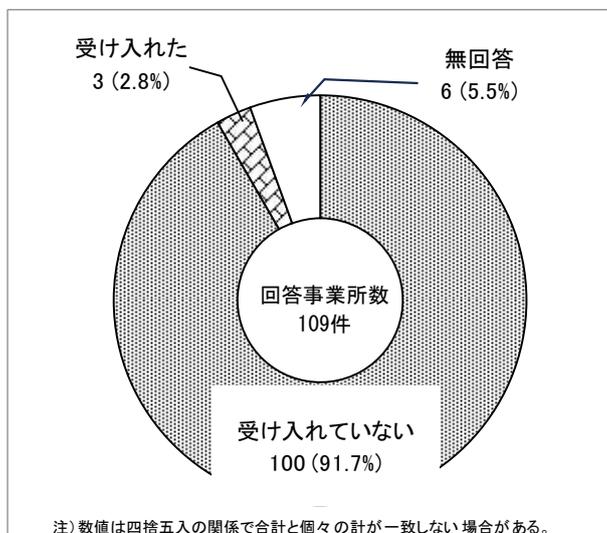
排出事業者との一時契約により処分先を決定しているの。
排出事業者より最終処分先の指定があった。

問4 県外から搬入のあった産業廃棄物について

貴事業所では、令和4年度に県外から処理・処分を目的とする産業廃棄物を受け入れましたか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。また、受け入れた場合は、その種類、おおよその量、委託元の都道府県名等をご記入ください。

県外からの産業廃棄物の受入については、「受け入れていない」（100件、91.7%）が最も多く、次いで「受け入れた」が2.8%（3件）であった。

受入内容については、「廃プラスチック類」と「医療廃棄物」となっており、いずれも中間処理となっている。

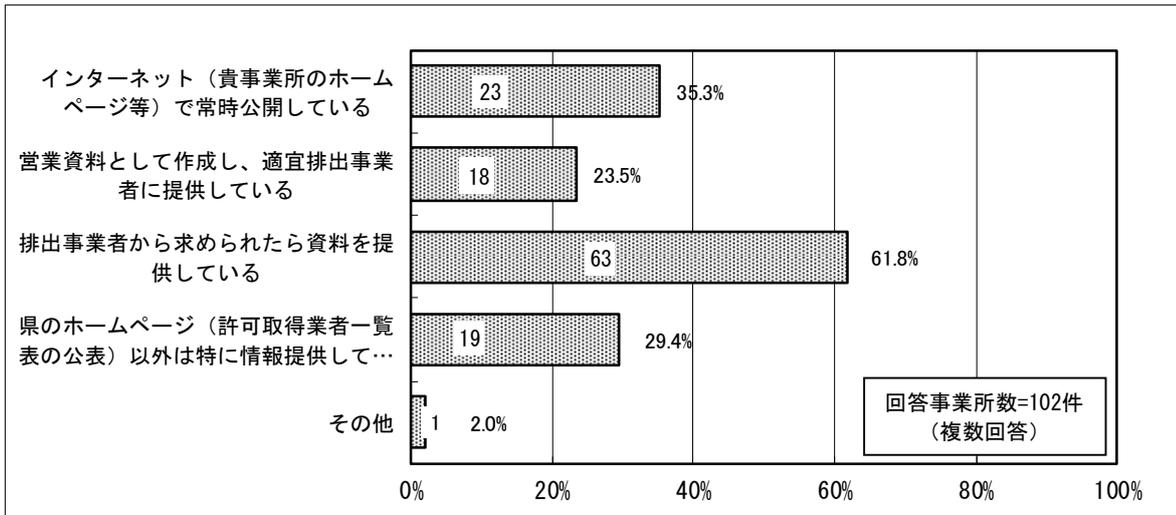


受入の内容	種類	重量 (t)	排出地
中間処理	廃プラスチック類	905.97	東京都
中間処理	金属屑、 廃プラスチック類	0.36	埼玉県

問5 排出事業者への情報提供について

貴事業所では、排出事業者に対して、施設の処理能力・処理方法や設備内容、処理やリサイクルの流れ、透明性等についてどのように情報提供していますか。該当する番号に○をつけてください（複数回答）。

情報提供については、「排出事業者から求められたら資料を提供している」（63件、61.8%）が最も多くなっている。次いで、「インターネットで常時公開している」（23件、35.3%）、「インターネットで常時公開している」（23件、35.3%）、「営業資料として、適宜排出事業者に提供している」（18件、23.5%）となっている。



その他
優良産廃処理業者認定制度に係わる公表事項。
自身の営業活動

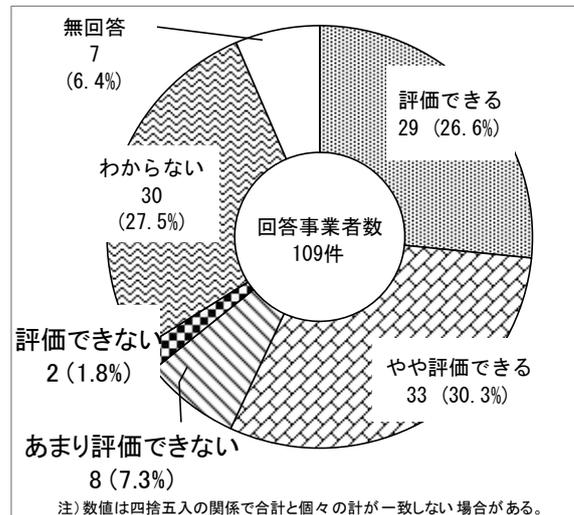
問6 産業廃棄物税導入による影響・効果について

(1) 沖縄県では、平成18年4月1日から「産業廃棄物税（法定外目的税）」を導入しています。その税収は、産業廃棄物の排出抑制、再生利用、適正処理を推進するため、① 公共関与による産業廃棄物最終処分場の周辺環境整備、② 事業者等による排出抑制・リサイクル等への支援、③ 処理業の優良化の促進、④ 不法投棄等防止対策等の施策に充てています。

貴事業所では、これらの税収の使途・事業等について、どのようにお考えですか。該当する番号を1つ選び、○をつけてください。

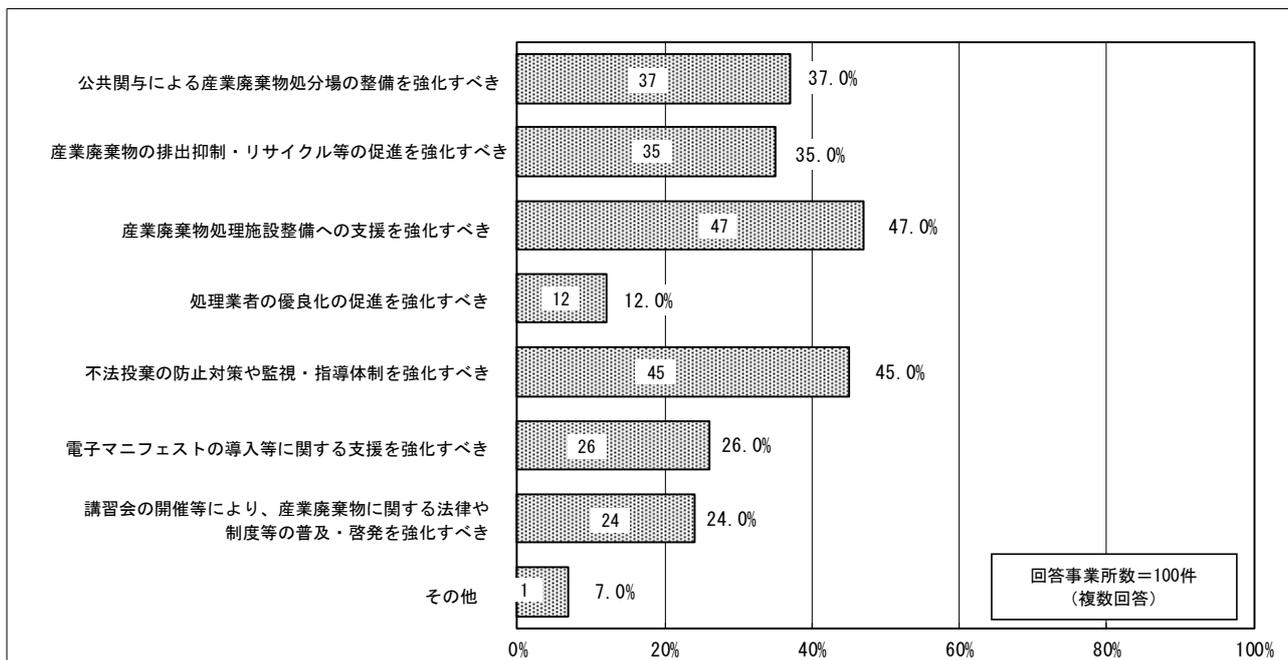
税収の使途・事業等については、「やや評価できる」が30.3% (33件)と最も多く、次いで、「評価できる」が26.6% (29件)となり、合わせて約6割を占めている。

一方、「あまり評価できない」は7.3% (8件)、「評価できない」は1.8% (2件)、「わからない」は27.5% (30件)となっている。



(2) 今後、税収の使途・事業として、どのような施策を充実すべきだとお考えですか。該当する番号に○をつけてください (複数回答可)。

処理業者が望む税収の使途・事業等については、「産業廃棄物処理施設整備への支援を強化すべき」(47件、47.0%)が最も多く、次いで、「不法投棄の防止対策や監視・指導体制を強化すべき」(45件、45.0%)、「公共関与による産業廃棄物処分場の整備を強化すべき」(37件、37.0%)等の意見が多くなっている。

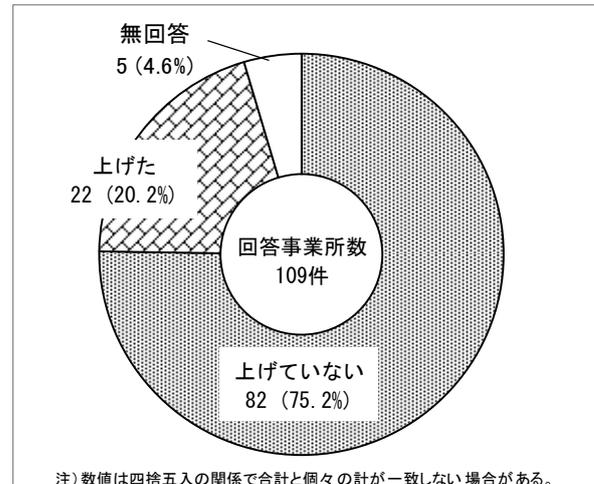


問7 処理料金（単価）について

近年物価が高騰傾向にあります。貴事業所では、令和4年度の処理料金（単価）を、前年度（令和3年度）と比較して上げましたか。

前年度と比較して処理単価を「上げた」と回答した事業所は20.2%（22件）となっている。

回答のあった事業所について、処理料金（単価）を上げた内容（処理方法や品目や金額等）については以下のとおりである。



原油価格高騰が経営に多大な影響を与えている。 破碎処分にあたって必要な機械（破碎機、バックホー3台、運搬車両2台、チェーンソー等）をフル稼働すると1日当たり600ℓ（1ℓ当たり150円とした場合、90000円/日）の燃料を要するため、原油価格の高騰は経営状況を悪化させているため、処理単価を上げた。
無筋コンクリートの処理費用を¥200円/tから¥500/tへ引き上げた。処理方法は依然と変更なし。（破碎） 電気料金や燃料価格等の高騰による為。
動植物残さをkg当たり9円上げた。値上げに対してお互いなんの問題もなかった。
新型コロナウイルスによる経済への影響と円安や原油価格高騰により、処理施設・運搬車両等の維持費用が増加し、コスト削減や業務効率化など自助努力を続け価格維持に努めて参りましたが、予想以上のコスト増加が続き処理料金（単価）を改定致しました。
燃料費、電気料金の高騰、人件費の増加により廃タイヤ処理料金を10%上げになりました。
廃プラを5円～20円処理代を上げました。
油水分離にて廃油を中間処理する際、残さ物として油水を県外の業者へ再生利用を委託するが物流コストが高騰な為、やむを得ず処理料金（単価）を上げた。
市町村の浄化センター入札単価を電気代、燃料代の高騰に伴い値上げしました。（民間の排出事業者への料金改定は難しいのが現状です。） 民間の排出業者へも新規の契約に対しては要相談で値上げしています。

問 8 その他

産業廃棄物の処理等に関する課題・問題点、県に対する要望等、ご自由にご記入ください。

産業廃棄物の処理に関する課題や問題点、県への要望は以下のとおりであった。処分費、施設整備等を望む意見がある。

産業廃棄物処理等に関する課題・問題点・要望等
土曜日に施工をした場合、汚泥の受け入れがしてもらえないのが現状であるため、土曜持ち込み時の費用を補てんなど、排出業者に負担がいかないように協議していただきたい。
処分場の増加（離島にも汚泥処分場を整備してほしい）
沖縄県の処分費に対して疑問です。アスファルト廃材及びコンクリート廃材の処分の設計単価が他県に比べて安価であること。本来処理・処分を行うための費用なので機械損料や電気代、事務処理費用等の経費を考えると現在の単価は疑問に思います。廃材が集まりにくい地域なので市場が安価になっているように思われます。今後適正な価格の設定が必要かと考えます。
建物解体等の工事を適正な価格で取れない。安すぎる解体工事は、不法投棄の疑いはないだろうか。発注者にも責任がいくよう法を改正してほしい。
弊社の産業廃棄物処分業の許可は移動式の為、沖縄県内に処分場はございません。令和4年度も実績はありませんでした。
未だに建設業者では産廃と一般廃棄物の区別、分別がついていない。何度理解を求めてもペットボトルや弁当がらが入っている。注意すると取引を切られる場合がある。他業者はOKとかで…。
報告する内容や提出先が多く、事務作業の負担が大きい。
米軍脱水汚泥の処理について。 有機フッ素化合物の数値を知りたく、業者へ依頼したところ、返事保留されたままなので、分析機関を紹介して欲しいです。（職員や農家への説明の為）

3. 排出事業者及び処理業者へのアンケート調査の回答方法について

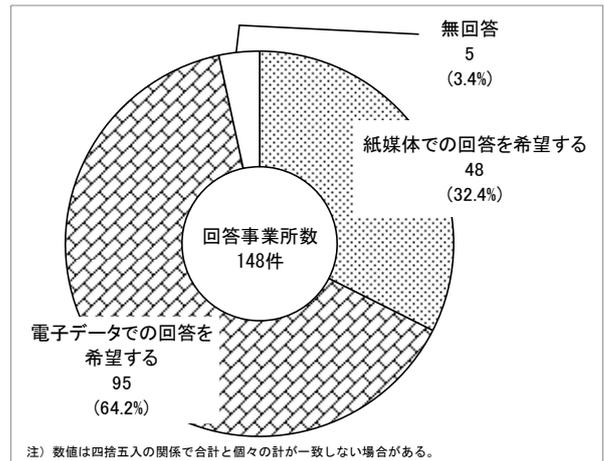
沖縄県では毎年、産業廃棄物の発生・排出及び処理・処分状況の産業廃棄物減量化目標に対する進捗状況を把握するとともに、産業廃棄物税の効果を検証するために必要な基礎情報を得ることを目的にアンケート調査を実施しております。

近年、電子データによる回答を希望する事業者が増えたことから、本調査においても沖縄県環境整備課ホームページから電子データを入手できるようにしております。

今後、貴事業所として本調査に回答する場合、現在と同様の紙媒体での回答を希望しますか。もしくは、電子データによる回答を希望しますか。該当する番号を1つ選び、○を付けてください。

(1) 排出事業者

紙媒体での回答を希望する事業所は32.4%（48件）、電子データでの回答を希望する事業所は64.2%（95件）であった。



(2) 処理業者

紙媒体での回答を希望する事業所は34.9%（38件）、電子データでの回答を希望する事業所は57.8%（63件）であった。

